

TDM HANDBOOK

— 企業活動と東京 2020 大会輸送との両立に向けて —



**TAKE
ACTION**
2020TDM 推進プロジェクト

2021 年 3 月 (Ver1.55)
2020TDM 推進プロジェクト運営事務局

はじめに

2021 年の東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京 2020 大会」とする）では、多くのトップアスリート等が東京に来訪します。それに伴い大会期間中には交通の変化が見込まれ、今後の社会経済情勢や道路や鉄道の輸送状況等を踏まえ、十分な交通対策により大会時における良好な交通状況を実現する必要があると考えてています。そのため、企業活動と東京 2020 大会成功の両立のためには、例えば、混雑を避けた日時やルートを使っていただくというような交通需要マネジメント(以下、TDM)への皆様のご協力が必要です。

このハンドブックは、各企業の皆様が、大会時の TDM の取組についてご検討いただく際に、ご活用いただきたい情報や、大会に向けた取組の計画づくりについて、ご紹介するものです。

目次

大会概要と事業への影響

1章

コロナ禍での交通状況など.....1-1

2章

大会概要の把握.....2-2

大会日程、競技会場、関係者輸送ルート等の確認

御社の企業活動の現状を把握.....2-14

社員の通勤、勤務時間、体制、営業活動の方法、荷物の入出庫の把握

大会時に想定される御社の企業活動への影響を洗い出し.....2-15

人の移動：社員の通勤、商談、会議等

モノの移動：商品、部品、備品等

対策を考える（アクションプランの作成）

3章

アクションプランを作成してみませんか.....3-2

●取組む項目の確定：Step1

●内容（いつ、どのくらい）の確定：Step2

●取組推進の責任者/部署と実施の確認方法の確定：Step3

交通混雑の影響を受けそうな日、時間帯を影響度マップで確認.....3-8

活用できそうな各種支援策を確認.....3-16

試して課題を探る

4章

アクションプランの試行.....4-2

試行から課題の洗い出し.....4-3

アクションプランの修正.....4-3

大会に備える！

【参考】

参考 1 コロナ禍における企業取組

参考 2 都庁 2 0 2 0 アクションプラン

参考 3 アクションプラン作成関連ホームページ

第1章 コロナ禍での交通の現状

コロナ禍においては、テレワークや時差出勤などの定着、eコマースの普及・拡大や滞在人口や物流の郊外部での増加と都心部での減少などが見られた他、人や物の移動では、目的地や交通手段が変化していると推察されます。

このような中、首都高速道路や都内の一般道路の平日の交通量は、概ね例年並みの水準まで回復する傾向にあり、最大の日交通量は例年と同程度の水準にまでなる日もあります。休日においても過度な交通の集中で連休などにおいては渋滞も発生しています。

鉄道利用も首都圏主要ターミナル駅の平日ピーク時利用者数は、コロナ禍前と比較して最大7割減の時期もありましたが、2021年3月頃においては約3～4割減の水準となっており、今後の需要回復等の変化も徐々に回復があるなどを想定しておく必要があります。

このため、道路交通、鉄道利用ともに大会期間中には例年規模の需要がある場合にも対応することを考えて各種の準備が必要と考えます。

● 首都高速の利用台数状況

2020 年 4 月 7 日発出された緊急事態宣言中には、多くの人々により外出を控える行動変容に対する協力が行われ、その結果、首都高速道路の平日交通量は前年比約 3 割減の水準となりましたが、2020 年 11 月には概ね同程度まで回復しました。

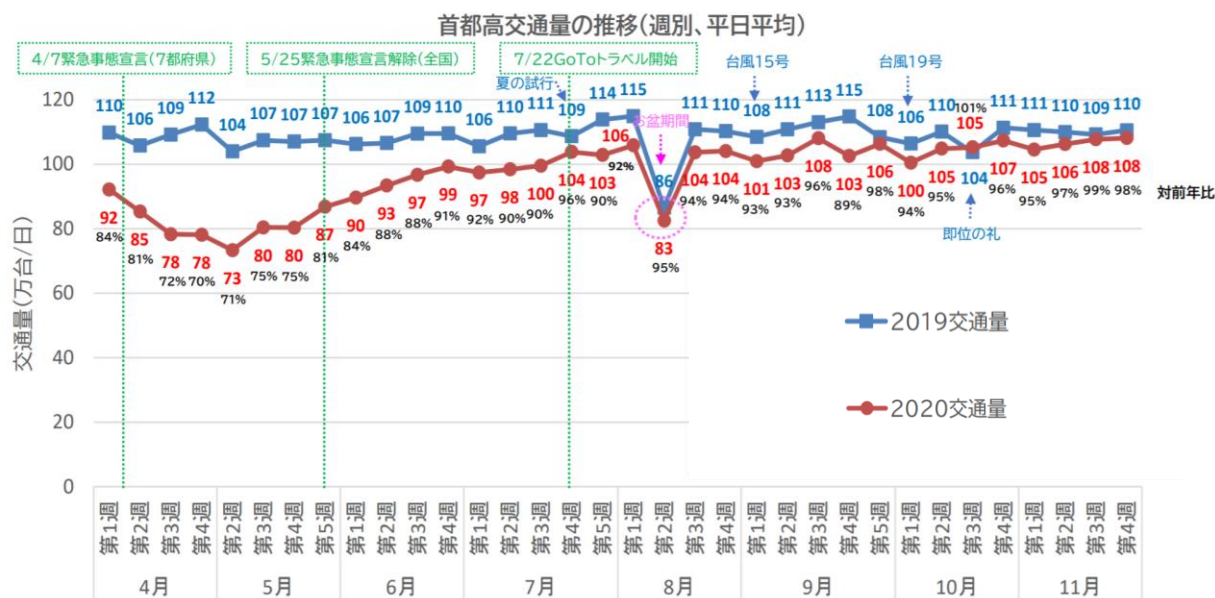


図1 首都高速道路の交通量の推移

出典) 首都高速道路「首都高速道路通行台数等データ」<https://www.shutoko.co.jp/company/database/trafficdata>

車種別では、バス・タクシーが2019年に比べて2020年は減少したものの、乗用車が増加する状況にありました。

表1 首都高速道路の交通量の推移(2019年と2020年)

24時間計	2019	2020	差	対前年比
バス	19,000	8,000	▲11,000	▲57.9%
タクシー	76,000	46,000	▲30,000	▲39.5%
トラック・ライトバン	457,000	442,000	▲15,000	▲3.3%
乗用車	493,000	517,000	24,000	4.9%
計	1,045,000	1,013,000	▲32,000	▲3.1%

集計期間 2020 年 10 月 2019 年 10 月 ETCデータの平日平均より分析

出典) 国土幹線道路部会(2020 年 11 月 27 日) 資料

● 休日の渋滞状況

2020年9月4連休には、中央自動車道や関越自動車道等の高速道路の上下線で激しい渋滞が発生するなど、休日においては、レジャー交通の過度な集中により渋滞が発生しました。

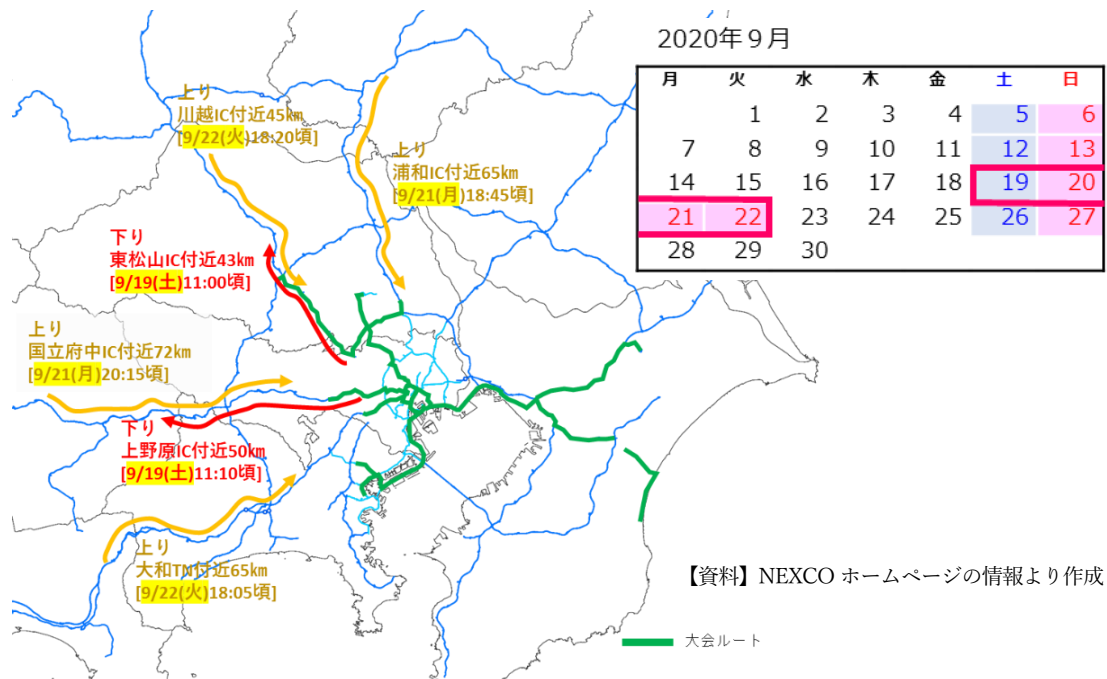
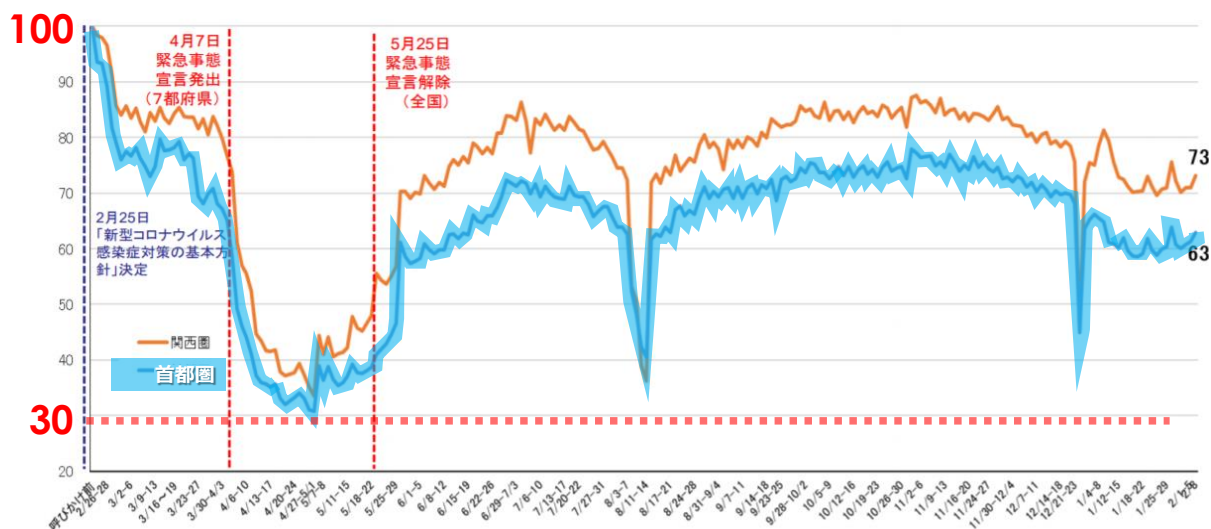


図2 4連休時の高速道路の渋滞発生状況

● 鉄道の利用状況

首都圏の主なターミナル駅における平日ピーク時間帯（7時30分～8時30分等が多く、駅により一部異なる）の利用者数については、呼びかけ前の2020年2月17日の週の特定日と比較し、2020年4月5月の緊急事態宣言下では最大約7割減となりました。緊急事態宣言解除後、利用者数は徐々に回復し、8月後半以降は約2～3割減の水準で推移し、2021年1月以降は4割減で推移しています。



※JR、大手民鉄の主なターミナル駅における平日ピーク時間帯の自動改札出場者数の減少率の平均値

※数値は、呼びかけ前（2月17日の週の特定日）を100とした場合の指数

※ピーク時間帯は、各駅において7:30～9:30の間の1時間で最も利用者が多い時間帯

※首都圏の主なターミナル駅（東京、新宿、渋谷、品川、池袋、高田馬場、大手町、北千住、押上、日暮里、町田、横浜）

図3 テレワーク・時差出勤呼びかけ後のピーク時間帯の駅利用状況推移

出典) 国土交通省「テレワーク・時差出勤呼びかけ後のピーク時間帯の駅利用状況推移」

https://www.mlit.go.jp/tetudo/tetudo_fr1_000062.html

表2 23区テレワーク実施率(就業者)

	2019年 12月	2020年 5月	2020年 12月
テレワーク 実施状況	17.80%	48.40%	42.80%

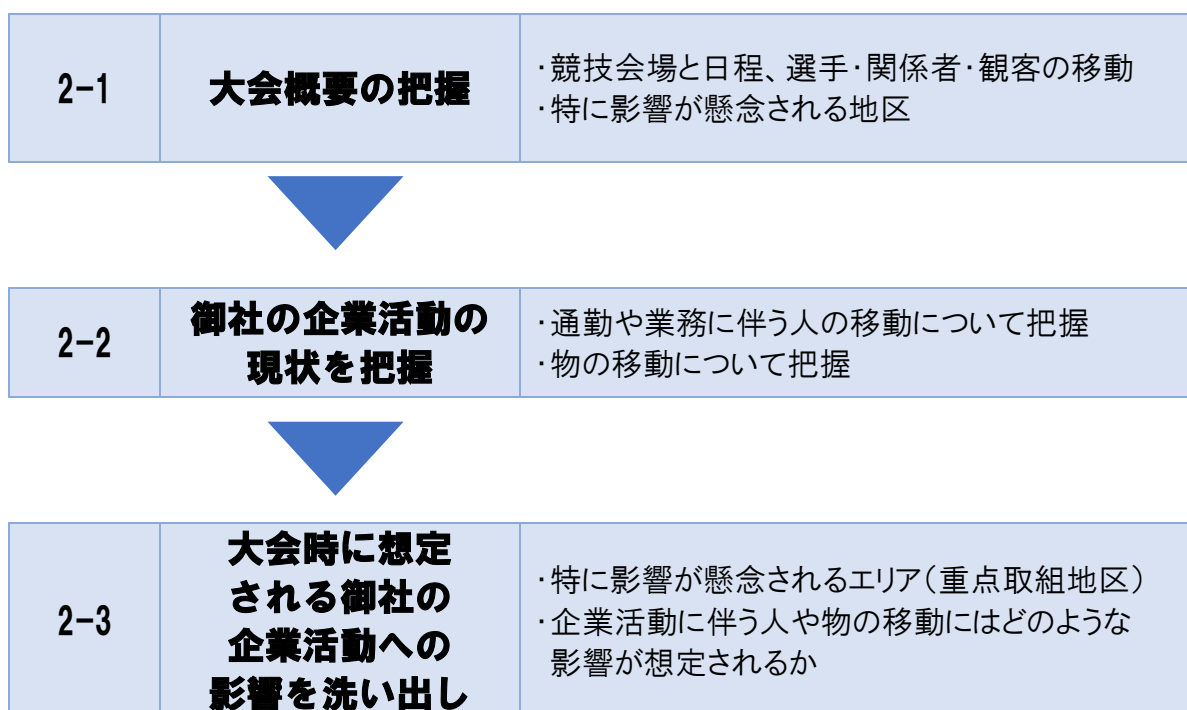
出典) 内閣府「第2回新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」

https://www5.cao.go.jp/keizai2/manzoku/pdf/result2_covid.pdf

第2章 大会概要と事業への影響

東京2020大会期間中の業務への影響を最小限とするために、社員の通勤、打合せ先へ行くなど業務に伴う移動や商品の配送、受取、納品先における消費状況や在庫状況の変化などへの影響を把握し、感染症対策の面からも混雑を避けた移動や非接触による業務活動を各企業の特性に合わせながら行っていただくことが必要です。

まず、次のフローに沿って、大会が及ぼす業務への影響をご確認ください。



2-1 大会概要の把握

・ 大会日程と競技数

表3 大会日程と競技数

	オリンピック	パラリンピック
聖火リレー	2021 年 3 月 25 日 ～7 月 23 日 (都内 7 月 9 日～)	2021 年 8 月 12 日 ～8 月 24 日 (都内 8 月 20 日～)
競技大会	2021 年 7 月 23 日 ～8 月 8 日	2021 年 8 月 24 日 ～9 月 5 日
競技数	33 競技	22 競技

選手、メディア関係者は東京 2020 組織委員会が調達したバスやバン・乗用車などで移動します。

・ 2021年カレンダー



図4 大会カレンダー

● 夏の時期の交通の傾向

オリンピック期間である7月下旬から8月にかけて、例年、交通量が増加する傾向にあります。特にお盆前は商品の配送等の物流が増える時期です。

● 開会式、閉会式前後の各国来賓の移動

開会式、閉会式には世界各国の来賓が入国される見込みです。開会式の数日前から羽田空港、成田空港に到着し、都内までの車などによる移動に伴って、交通規制が見込まれます。

● 交通規制などを伴う路上競技

開会前には聖火リレー、大会期間中にはマラソン、競歩、トライアスロンのような路上の競技も予定されています。聖火リレーや競技中には、コースとなる沿道やコースに交わる道路において交通規制が実施されます。

● 大会運営に伴う物流（大会物流）

過去大会の例から大会で使用した機器などの搬出は、大会終了後短期間に集中する傾向があります。

● 臨海部に集中する競技会場



- | | | | | | |
|--|--|--------------------------------------|--------------------------------|---|---------------|
| ① オリンピックスタジアム
【開会式／閉会式】
陸上競技
サッカー | ⑨ 武蔵野の森総合スポーツプラザ
バドミントン
近代五種（フェンシング） | ⑪ 潮風公園
ビーチバレーボール
青海アーバンスポーツパーク | ⑬ 幕張メッセ Aホール
テコンドー
レスリング | ⑮ 伊豆ベロドローム
自転車競技 トラック | ⑰ 札幌ドーム |
| ② 東京体育館
卓球 | ⑩ 東京スタジアム
サッカー
近代五種（水泳、フェンシング、馬術、レーサーラン） | ⑫ 3×3 バスケットボール
スポーツクライミング | ⑭ 幕張メッセ Bホール
フェンシング | ⑯ 伊豆MTBコース
自転車競技 マウンテンバイク | ⑱ 宮城スタジアム |
| ③ 国立代々木競技場
ハンドボール | ⑪ 武蔵野の森公園
ラグビー
近代五種（水泳、フェンシング、馬術、レーサーラン） | ⑬ 大井 Hockey 競技場
ホッケー | ⑮ 釣ヶ崎海岸サーフィンビーチ
サーフィン | ⑰ 富士スピードウェイ
自転車競技 ロード（ロードレース・ゴール、個人タイムトライアル） | ⑲ 茨城カシマスタジアム |
| ④ 日本武道館
柔道
空手 形
空手 組手 | ⑫ 有明アリーナ
バレーボール | ⑭ 海の森クロスカントリーコース
総合馬術（クロスカントリー） | ⑯ さいたまスーパーアリーナ
バスケットボール | ⑰ 福島あづま球場
野球 | ⑲ 埼玉スタジアム2002 |
| ⑤ 皇居外苑
陸上競技（競歩） | ⑬ 有明体協競技場
体操競技
新体操 | ⑮ 海の森水上競技場
カヌー スプリント
カヌー スラローム | ⑰ 陸上自衛隊朝霞訓練場
射撃 | ⑰ 横浜スタジアム
野球 | ⑲ 横浜国際総合競技場 |
| ⑥ 東京国際フォーラム
ウェイトリフティング | ⑭ 有明体協競技場
体協競技
新体操 | ⑮ 夢の島公園アーチェリー場
アーチェリー | ⑰ 霞ヶ関カンツリー倶楽部
ゴルフ | ⑰ 江の島ヨットハーバー
セーリング | |
| ⑦ 国技館
ボクシング | ⑮ 有明アリーナ
自転車競技 BMX フリースタイル
自転車競技 BMX レーシング | ⑰ 東京アクアティクスセンター
アーティスティックスイミング | | | |
| ⑧ 馬事公苑
馬場馬術
総合馬術
障害馬術 | ⑯ 有明テニスの森
テニス | ⑰ 東京辰巳国際水泳場
水球 | | | |
| | ⑰ お台場海浜公園
マラソンスイミング
トライアスロン | | | | |

図5 競技会場位置

出典) https://www.2020games.metro.tokyo.jp/taikaijyunbi/taikai/map/detail_map/index.html#tabOlympic

● 会場別の競技開催日程

次の表は会場別の競技開催日程をまとめたものです。随時変更されることがありますので、詳細は HP にてご確認ください。

オリンピック <https://tokyo2020.org/jp/games/schedule/olympic/>

パラリンピック <https://tokyo2020.org/jp/games/schedule/paralympic/>

表4 会場別の競技開催日程

Num	会 場	オリンピック	パラリンピック	観客利用想定駅
1	オリンピックスタジアム	7月30日(金)～8月7日(土) 9時～22時55分	8月27日(金)～9月5日(日) 9時30分～22時5分	JR総武線「信濃町駅」「千駄ヶ谷駅」 東京メトロ半蔵門線・都営大江戸線「青山一丁目駅」 東京メトロ副都心線「北参道駅」 東京メトロ銀座線「外苑前駅」 都営大江戸線「国立競技場駅」
2	東京体育館	7月24日(土)～8月6日(金) 9時～22時40分	8月25日(水)～9月3日(金) 9時～22時	JR総武線「千駄ヶ谷駅」 都営大江戸線「国立競技場駅」
3	国立代々木競技場	7月24日(土)～8月8日(日) 9時～23時	8月25日(水)～9月5日(日) 9時～22時	JR山手線「原宿駅」 東京メトロ千代田線・副都心線「明治神宮前駅」
4	日本武道館	7月24日(土)～8月7日(土) 10時～21時40分	8月27日(金)～8月29日(日) 10時30分～19時40分	東京メトロ東西線・半蔵門線、 都営新宿線「九段下駅」
6	東京国際フォーラム	7月24日(土)～8月4日(水) 9時50分～22時	8月26日(木)～8月30日(月) 11時～19時50分	JR京浜東北線・山手線、東京メトロ有楽町線「有楽町駅」
7	国技館	7月24日(土)～8月8日(日) 11時～20時45分	— — —	JR総武線「両国駅」 都営大江戸線「両国駅」
8	有明アリーナ	7月24日(土)～8月8日(日) 9時～23時45分	8月25日(水)～9月5日(日) 9時～22時15分	東京メトロ有楽町線、東京臨海新交通臨海線ゆりかもめ「豊洲駅」 東京臨海新交通臨海線ゆりかもめ「新豊洲駅」東京臨海高速鉄道りんかい線「東雲駅」「国際展示場駅」(退場時)
9,10	有明体操競技場・ 有明アーバンスポーツパーク	7月24日(土)～8月8日(日) 9時～22時	8月28日(土)～9月4日(土) 9時30分～21時5分	東京臨海高速鉄道りんかい線「国際展示場駅」 東京臨海新交通臨海線ゆりかもめ「有明テニスの森駅」
11	有明テニスの森	7月24日(土)～8月1日(日) 11時～20時	8月27日(金)～9月4日(土) 11時～20時	東京臨海高速鉄道りんかい線「国際展示場駅」
12,13	お台場海浜公園・潮風公園・ 青海アーバンスポーツパーク	7月24日(土)～8月7日(土) 6時30分～23時25分	8月28日(土)～9月4日(土) 6時30分～21時	東京臨海新交通臨海線ゆりかもめ「台場駅」 東京臨海新交通臨海線ゆりかもめ「お台場海浜公園駅」 東京臨海高速鉄道りんかい線「東京レポート駅」
14	大井ホッケー競技場	7月24日(土)～8月6日(金) 9時30分～22時45分	— — —	東京モノレール「大井競馬場前駅」 京浜急行「立会川駅」
15,16	海の森水上競技場・ 海の森クロスカントリーコース	7月23日(金)～8月7日(土) 7時45分～13時15分	8月27日(金)～9月4日(土) 9時30分～12時30分	東京臨海高速鉄道りんかい線「東京レポート駅」 JR京葉線、東京メトロ有楽町線、東京臨海高速鉄道りんかい線「新木場駅」
17	カヌー・スラロームセンター	7月25日(日)～30日(金) 13時～17時	— — —	JR京葉線「葛西臨海公園駅」
18	夢の島公園アーチェリー場	7月23日(金)～7月31日(土) 9時～19時55分	8月27日(金)～9月4日(土) 9時～21時55分	JR京葉線・東京メトロ有楽町線・ 東京臨海高速鉄道りんかい線「新木場駅」
19,20	東京アクアティクスセンター・ 東京辰巳国際水泳場	7月24日(土)～8月8日(日) 9時30分～21時30分	8月25日(水)～9月3日(金) 9時～21時5分	東京メトロ有楽町線「辰巳駅」(入場時) JR京葉線「潮見駅」(入場時) 東京メトロ有楽町線、JR京葉線、東京臨海高速鉄道りんかい線「新木場駅」(退場時)
21	馬事公苑	7月24日(土)～8月7日(土) 7時45分～22時45分	8月26日(木)～8月30日(月) 15時～22時35分	小田急小田原線「経堂駅」「千歳船橋駅」 東急田園都市線「用賀駅」 東急田園都市線「桜新町駅」 東急世田谷線「上町駅」下車徒歩 小田急小田原線「成城学園前駅」(夜間退場時)
22,23	東京スタジアム・ 武蔵野の森総合スポーツプラザ	7月24日(土)～8月7日(土) 9時～23時	8月25日(水)～8月29日(日) 9時～22時15分	京王線「飛田給駅」
24	武蔵野の森公園	7月24日(土)～28日(水) 11時～18時15分	— — —	西武多摩川線「多磨駅」

注1) 期間内には競技開催が無い日も含む

注2) 競技時間帯は、期間内における最も早い開始時間、最も遅い終了時間で記載

・ 関係者輸送ルート

選手など大会関係者を乗せた車が通るルートとして「関係者輸送ルート」を設定しています。「関係者輸送ルート」は選手村、宿泊施設と空港、競技会場、IBC/MPC 等を結ぶ「大会ルート」、練習会場と大会ルートを結ぶ「練習会場ルート」、事故や渋滞等において大会ルートが使用できない場合に使用する「代替ルート」としてあらかじめ定めています。

「大会ルート」上では、大会関係車両の専用レーンや優先レーンの設置がされている区間があります。

東京都中央区晴海に設置される選手村では選手等の大会関係者が生活をし、競技開始前や競技終了後に競技会場との間を往復します。

また東京ビッグサイトには、各国からのメディア関係者が集まる 24 時間稼働のメディアセンター（IBC/MPC）が設置されます。各国の報道関係者が、メディアセンターから競技会場などの取材先等に向かいます。

・ 大会ルート（東京および周辺）



出典：2021年2月「輸送運営計画V2」

図6 東京および周辺の大会ルート(オリンピック・ルート・ネットワーク)

※ 選手村、メディアセンターなど主要施設の位置 (★印部分)

・大会ルート



図7 東京都心の大会ルート(オリンピック・ルート・ネットワーク)

※ 選手村、メディアセンターなど主要施設の位置 (★印部分)

・練習会場ルート

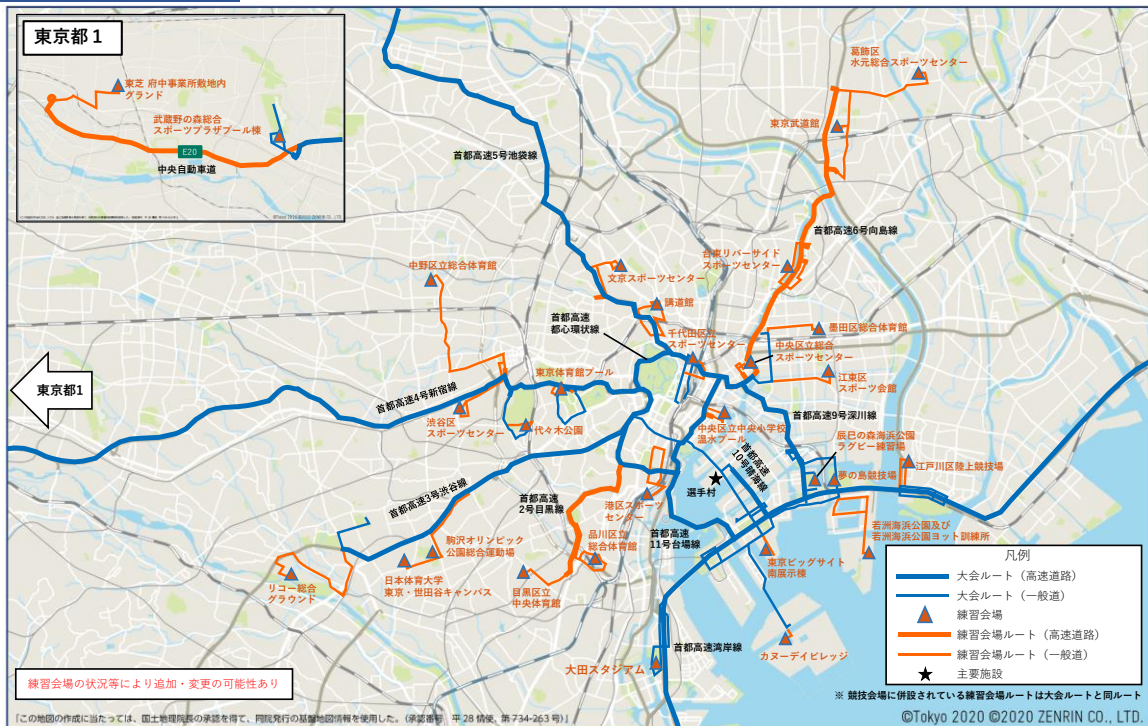


図8 東京都における練習会場ルート

※ 選手村、メディアセンターなど主要施設の位置 (★印部分)

代替ルート

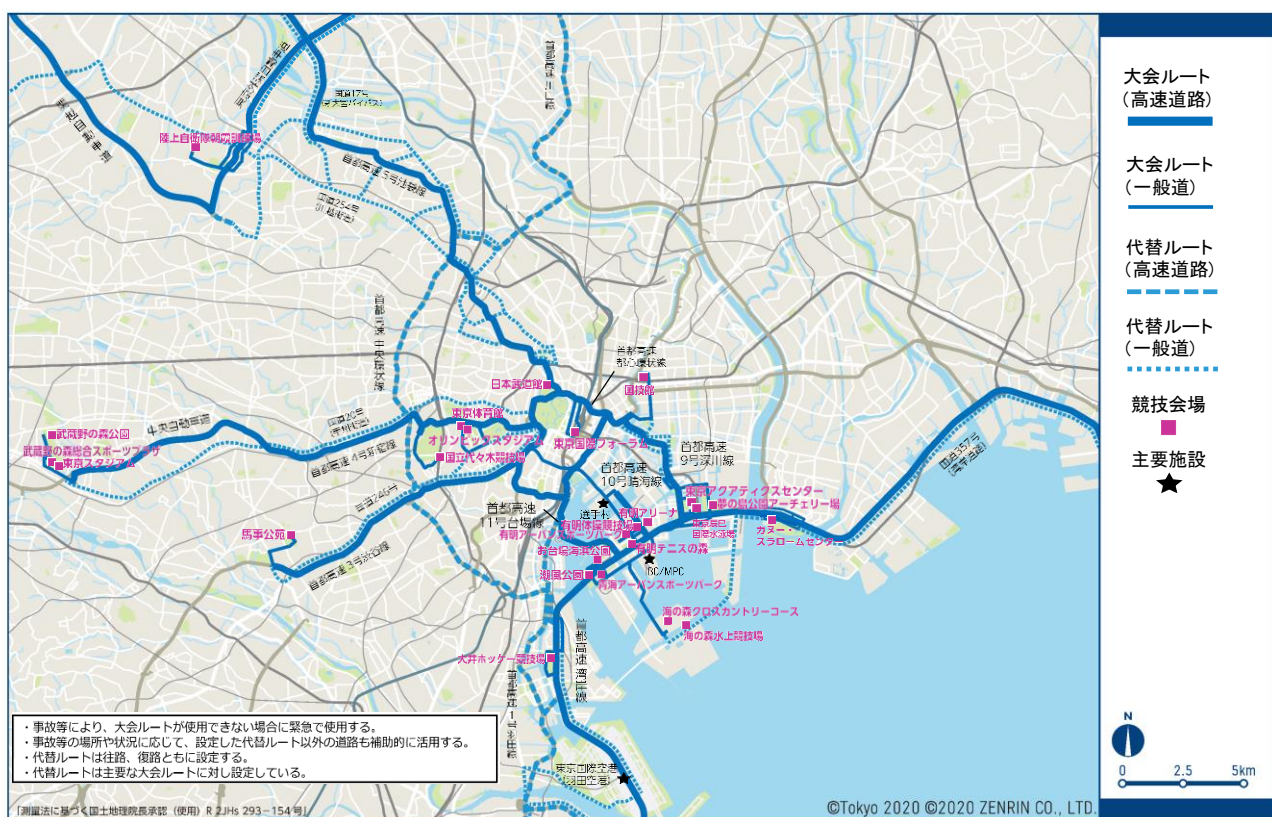


図9 東京都における代替ルート

※ 選手村、メディアセンターなど主要施設の位置（★印部分）

大会ルート、練習会場ルート、代替ルート出典）<https://2020tdm.tokyo/route/index.html>

・観客ルート（案）

観客は主に鉄道を利用して競技会場に向かっていただく予定です。

会場最寄りの駅から競技会場までのルートをあらかじめ決めて、ご案内します。

会場によって時間は異なりますが、概ね入場は競技開始の1時間30分程前から、退場は競技終了後30分程度を見込こんでおり、競技開催時間帯の前後で、多くの観客が往来することになります。

ただしオリンピックスタジアムについては原則3時間前から入場が始まり30分前までに入場終了、退場は60分かかると仮定しております。



【参考】観客輸送ルートの詳細はここからご確認ください。 https://2020tdm.tokyo/route_pdf/route_all.pdf

図 10 観客ルート案の例

出典)東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会 輸送連絡調整会議 第5回 (令和 3 年 1 月 18 日)

● 交通混雑への4つの対策

大会による交通混雑への対策として、下記の4つの取組を進めています。

- ① 交通需要の抑制・分散・平準化をする「**交通需要マネジメント (TDM)**」
企業の皆様等交通利用者の方々に交通需要低減のお願いを行う等
- ② 高速道路の流入調整等を行う「**交通システムマネジメント (TSM)**」
高速道路の交通量調整、一般道路における車両通行禁止区域の設置等の交通規制等
- ③ 高速道路の料金施策による「**交通需要調整**」
夜間割引による交通シフトの促進や、料金上乘せによる首都高速道路から一般道への誘導
- ④ TDM と合わせて輸送力増強も検討する「**公共交通輸送マネジメント**」
運行管理、駅等での旅客案内や、輸送力増強、時差出勤、テレワーク等のお願いを行う

● TDMの実施期間

2021年7月19日(月)～8月9日(月)、8月24日(火)～9月5日(日)

● TDMの目標

- ・ 道路交通は休日並みの交通環境を目指します
- ・ 鉄道は大会延期前と同程度のサービスレベルを目指します

【道路交通】

・ 一般交通

※下記は今後の交通状況等を継続しながら分析し、必要に応じて見直しを行う場合があります。

東京圏の広域における**一般交通**について、大会延期前の交通量の一律**10%減**を目指す。
特に**重点取組地区**(P2-15 参照)については、出入りする交通量の**30%減**を目指す。

・ 首都高速道路における交通量の更なる減

東京圏のオリンピック・ルート・ネットワーク(ORN)の基幹をなす**首都高速道路**については、交通量を**最大 30%減**とすることで、休日並みの良好な交通環境を目指す。
(TDM 及び追加対策等により実現)

【公共交通(鉄道)】

- ・ 局所的な混雑への対応などにより、**大会延期前と同程度**の安全で円滑な運行状況を目指す



**広く、企業や個人の皆さまから、
少しずつご協力いただき、交通量を減らすことが重要**

※上記の目標は今後の交通状況等を継続して分析し、必要に応じて見直しを行う場合があります。

・ 交通需要の低減の必要性が特に高いエリア・路線

競技会場は、複数の施設が集中する臨海部だけでなく、首都圏内にも立地しています。選手等の大会関係者の会場までの移動は高速道路利用が中心となり、会場周辺や高速道路等について、対策の必要性が高いと言えます。

こうしたことから、概ね圏央道の内側について対策のお願いを呼びかけています。

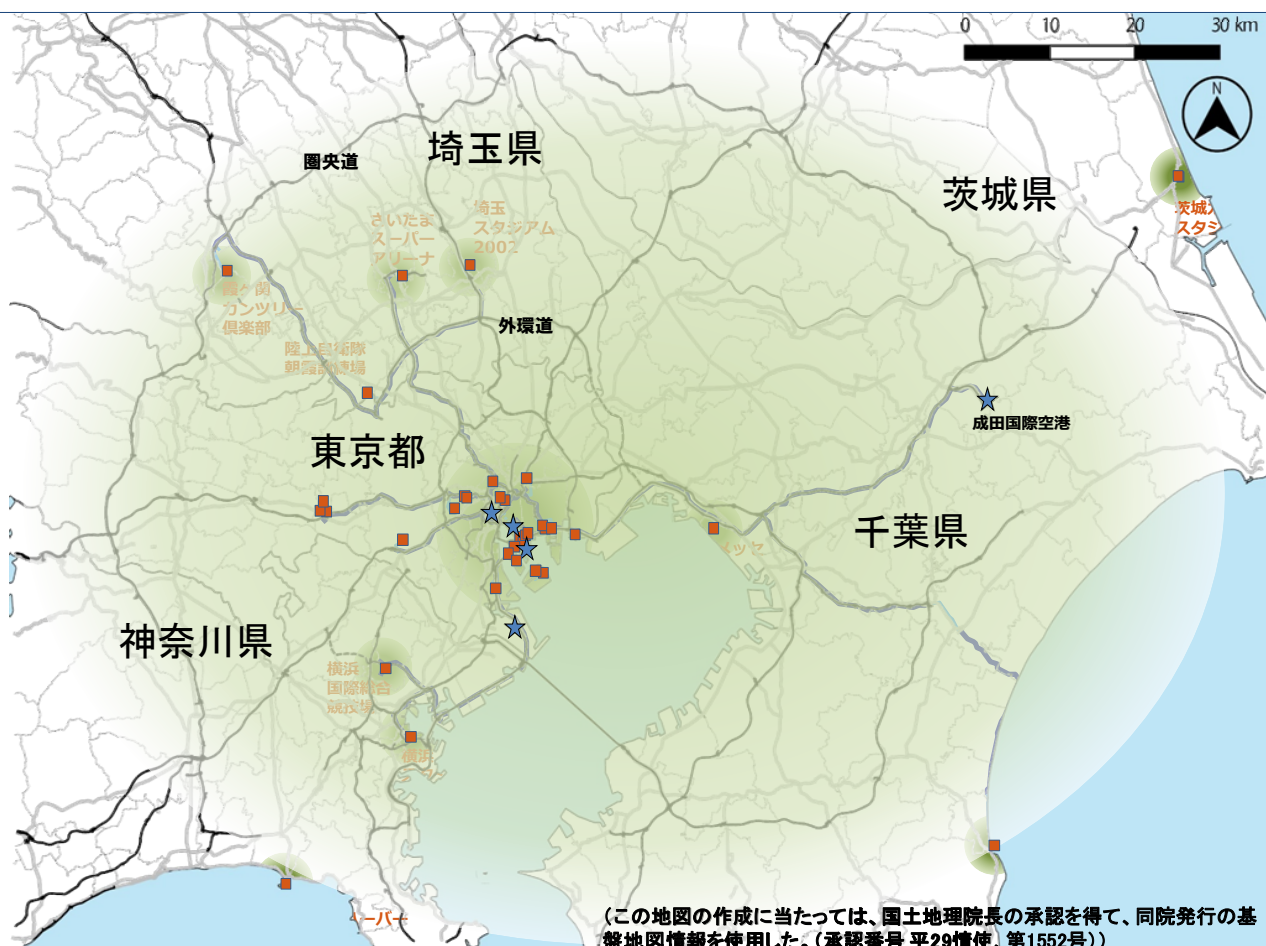


図11 対策を呼びかけていくエリア

※ 選手村、メディアセンターなど主要施設の位置(★印)部

・ 特に影響が懸念される16の地区（特に配慮いただきたい重点取組地区）

活発な経済活動の維持を図るため、「競技会場等が集中」「道路・鉄道の混雑箇所を通過する交通が多い」という観点から区部の16のエリアを重点取組地区として抽出しています。

重点取組地区内に事業所がある企業や取引先がある企業においても、テレワーク、時差出勤などの取組を行っていただき、道路交通については交通量の30%の低減（混雑時以外への時間変更や混雑箇所以外へのルート変更を含みます）、公共交通の利用についてはピーク時の需要分散にご協力をお願いいたします。

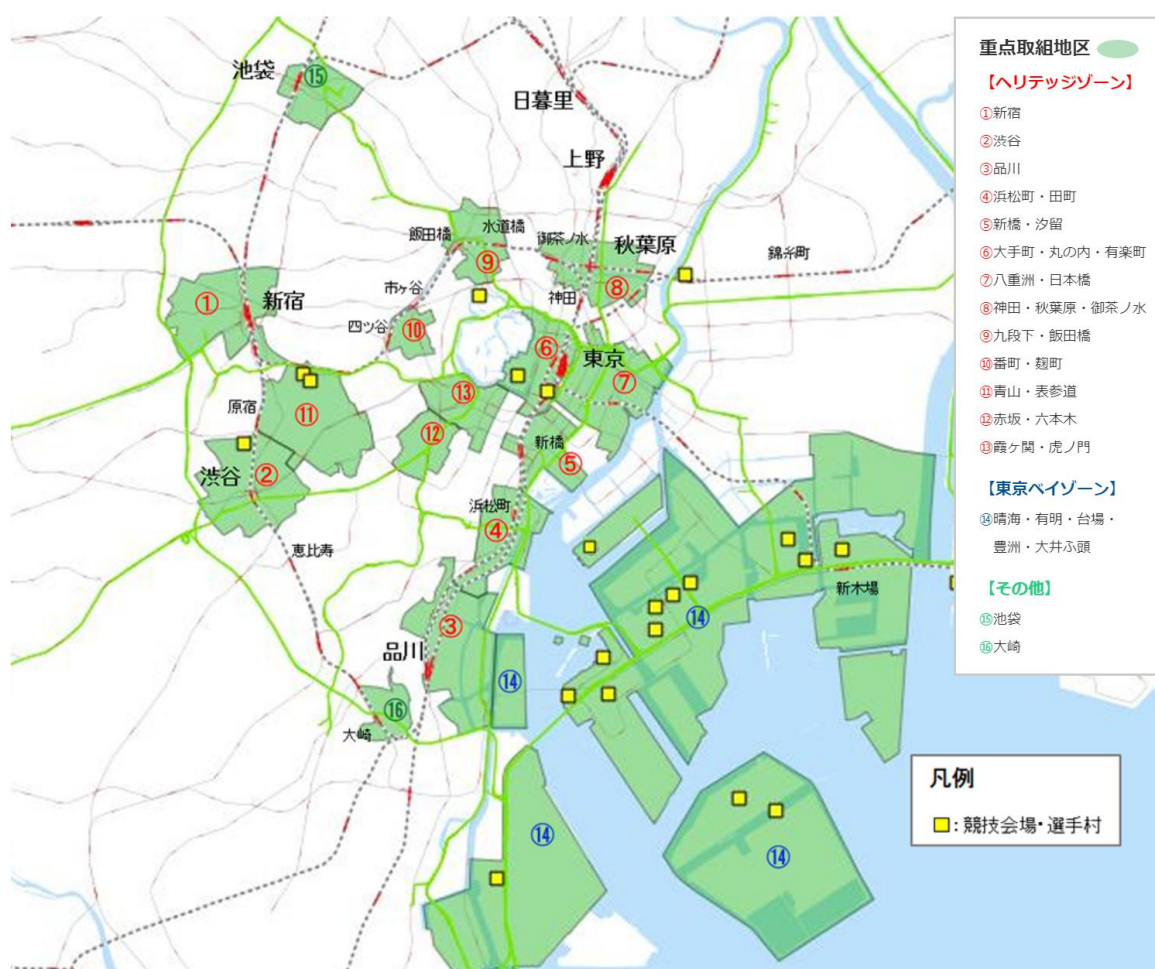
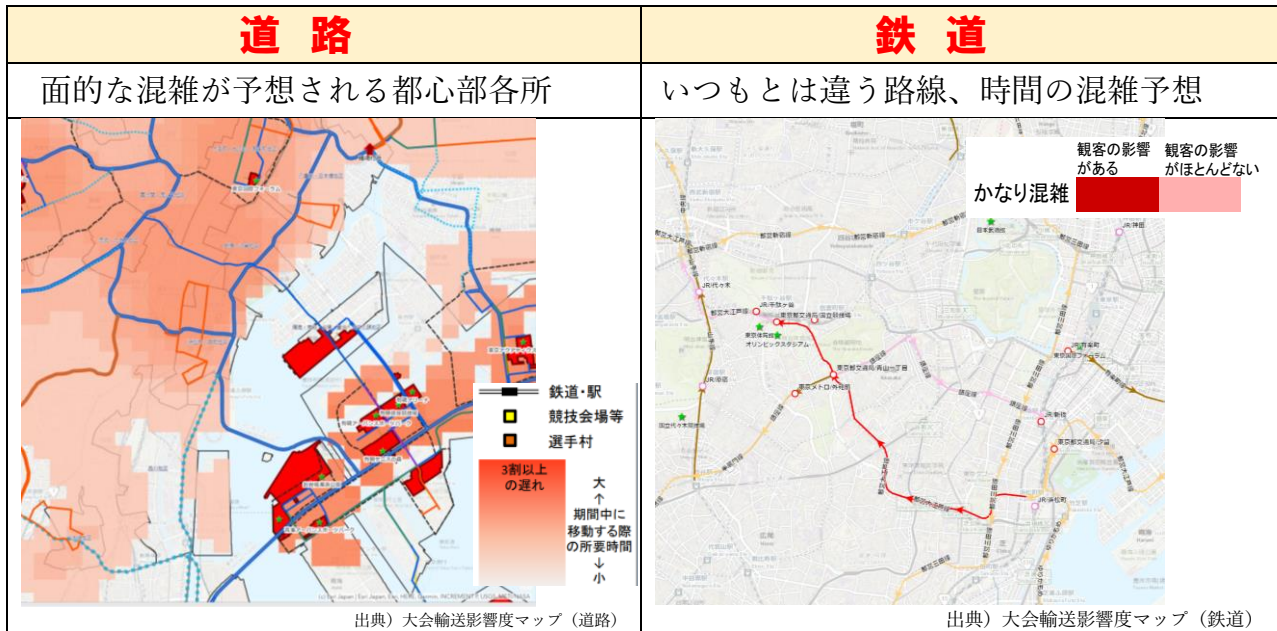


図 12 16の重点取組地区

1-2 御社の企業活動の現状を把握

道路・鉄道とも例年規模の需要がある場合、大会期間中は各所で混雑が見込まれています。



御社の事業活動にも影響の懸念

図 13 道路、鉄道の混雑と事業活動への影響懸念

感染拡大防止の面からも混雑を避けた非接触による業務活動が役立ちます。

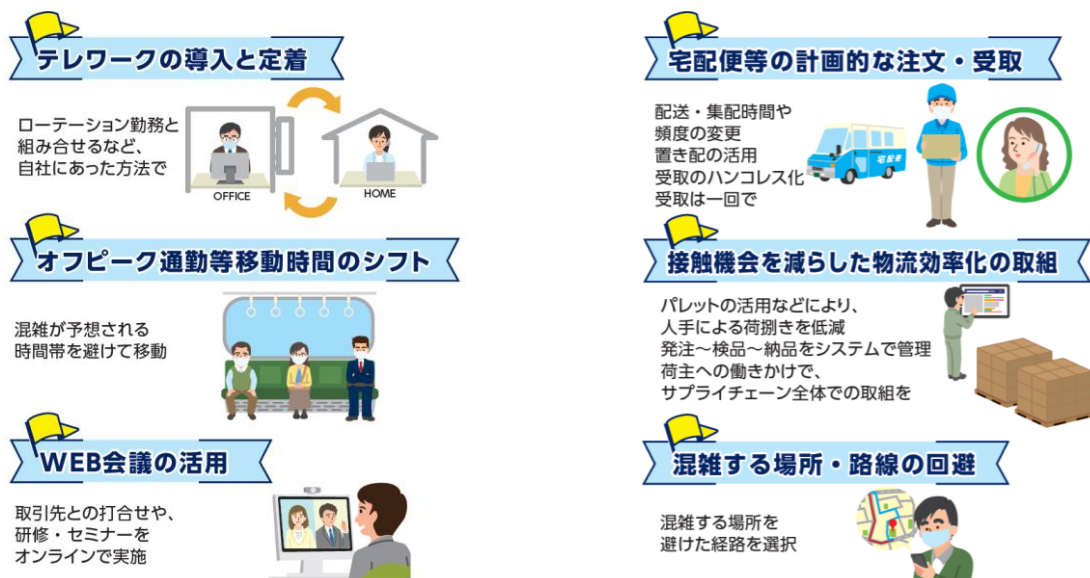


図 14 混雑を避けた取組事例

○ 企業活動の現状の把握

御社の企業活動に伴う移動はどのようなものがあるでしょうか。

従業員の方の通勤や、商品の配送だけでなく、社内で使うコピー用紙の納品やゴミの回収、食堂運営や清掃を委託されている業者の方の出入り、コロナ禍において変化した業務内容と併せて、ご確認をお願いします。

表5 企業活動面からの把握対象例

 車 (人の移動)	 貨物車 (物の移動)	 鉄道
・ 通勤で利用される車の台数 ・ 業務で利用される車の台数 ・ 首都高速道路の利用状況 ・ よく利用する一般道路	・ 御社に出入りする貨物車の台数 ・ 御社への貨物車出入りが 多い時間帯 ・ 商品等のお届け先の立地	・ 最寄りの利用駅 ・ 多くの従業員が通勤で使う路線 ・ 多くの従業員が使う乗換駅

2-3 大会時に想定される御社の企業活動への影響を洗い出し

御社の企業活動に伴う人の移動、モノの移動について把握していただき、大会時に想定される御社の企業活動への影響の洗い出しをお願いいたします。

次章で、その影響を回避する取組の検討と、2020 アクシヨンプランの作成についてご紹介します。

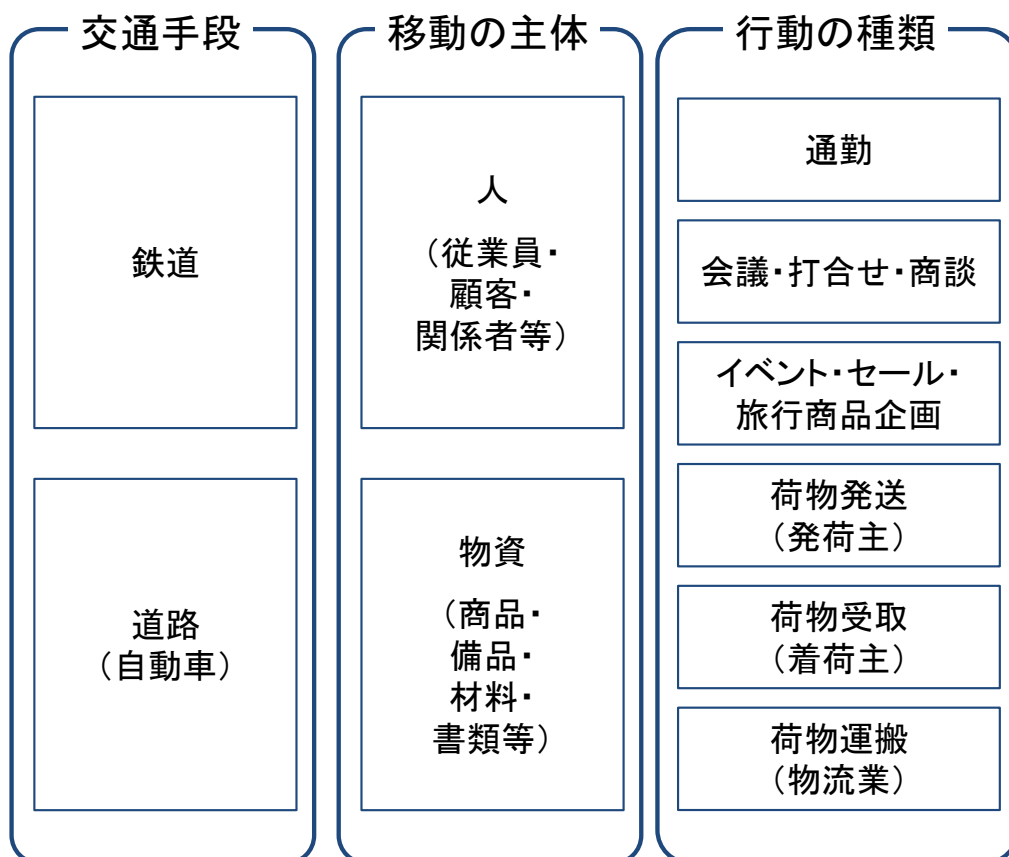
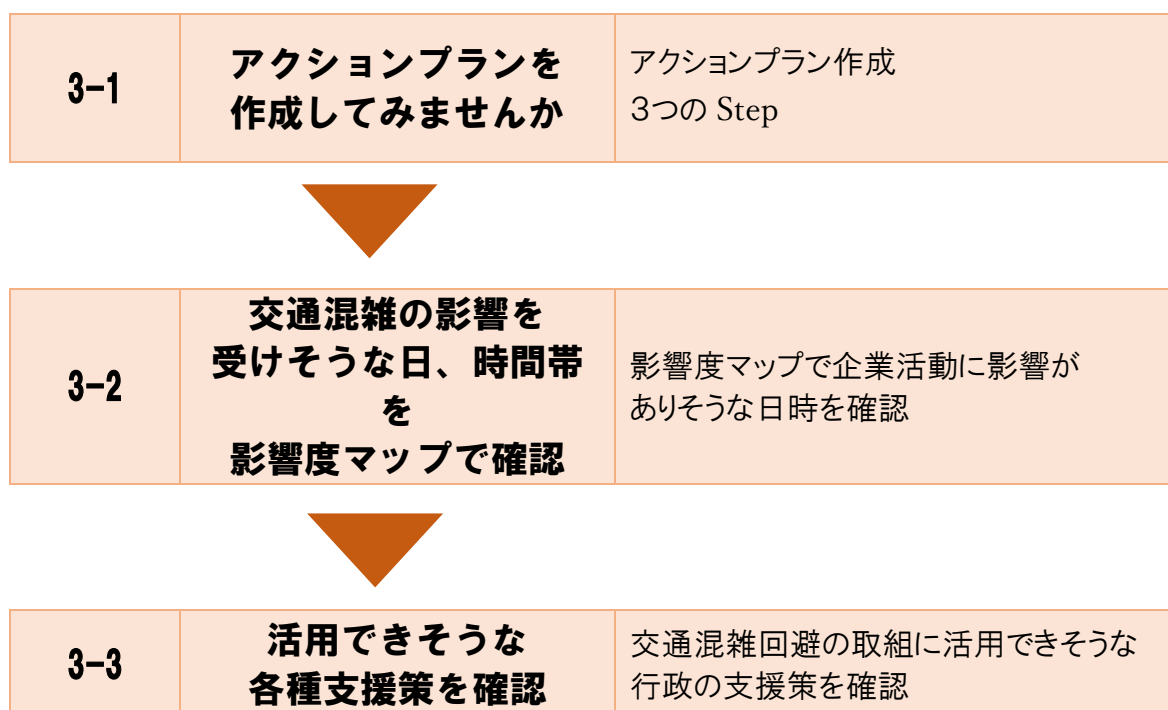


図15 対策の視点

第3章 対策を考える（アクションプランの作成）



2-1 アクションプランを作成してみませんか

○ アクションプランとは

2020 アクションプランとは、企業活動への影響を回避するために、取組めそうな項目の抽出や、どんな取組を、いつ、どのくらいの規模で、どの部署が推進するか、を整理して作成する大会時の TDM の取組についての計画です。

- ・取組む項目の確定 (Step 1)
対応可能な対策について取組み項目を抽出
- ・内容 (いつ、どのくらい) の確定 (Step 2)
具体的な取組のボリュームや、実施期間を設定
- ・取組推進の責任者／部署と実施の確認方法の確定 (Step 3)
その取組を所管する部署、責任者を定める

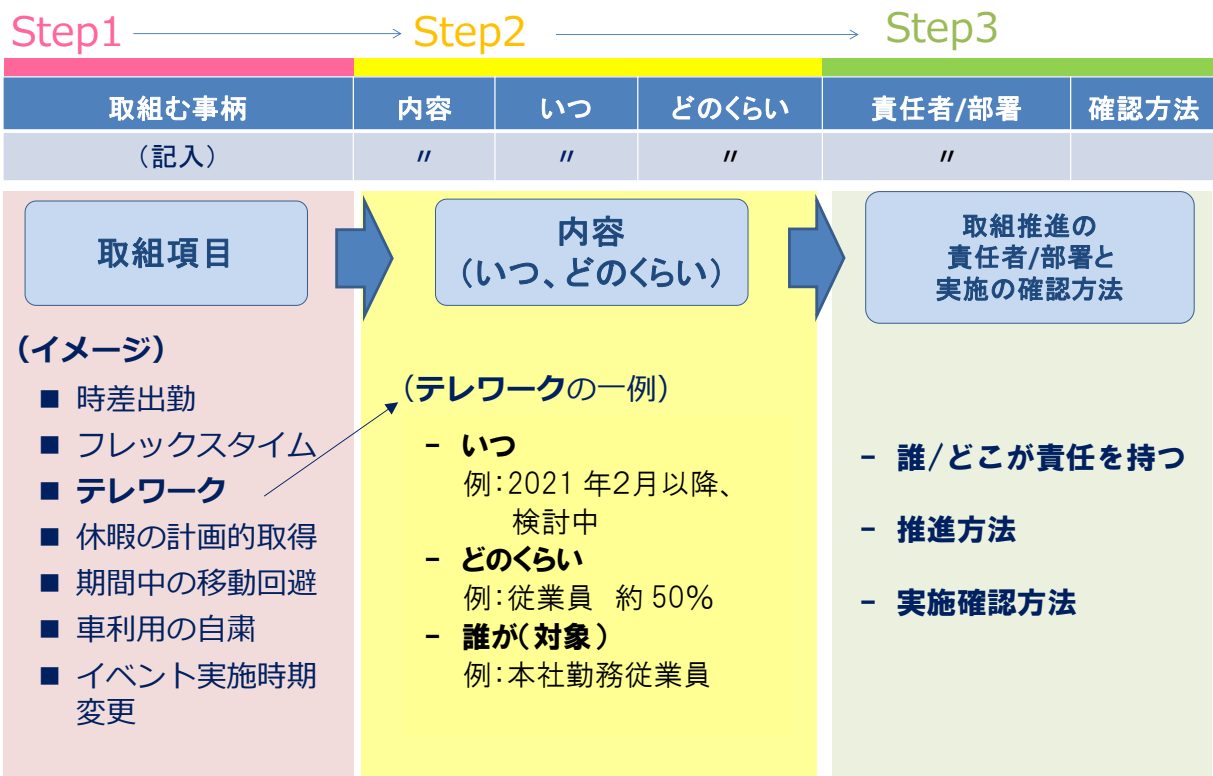


図16 アクションプラン策定の3つの Step

・ 人の流れに関する取組項目

人の移動を減らし、接触を減らすことは感染症対策としても役立ちます。取組としては、在宅でのテレワークや大会時期に合わせた休暇取得など出勤そのものを減らす方策があります。また、混雑する時間帯を避ける取組としては、時差通勤、ローテーション勤務などがあります。

表6 人の流れに関する行動と取組メニュー例

行動	分類	取組メニュー例	
		鉄道・道路共通	道路
全行動共通	量・回数を減らす	一斉休業／休暇の計画的な取得（夏季休暇・ボランティア休暇・有給休暇）／テレワーク	
	場所・ルートを変える	公共交通の利用	
通勤	時期・時間をずらす	郊外（影響が小さい地区）のサテライトオフィスの活用	
会議・打合せ・商談	量を減らす	時差出勤／フレックスタイム制の導入	
	時期・時間をずらす	メール・電話等での代替、WEB 会議	
	場所・ルートを変える	時期の変更（大会前後）／時間帯変更（観客や大会関係者が多く移動する時間帯を避ける）	
イベント・セール・旅行商品の企画	時期・時間をずらす	影響が大きい箇所（競技会場周辺、ORN、混雑箇所）を回避した走行ルートの設定	
	場所・ルートを変える	時期の変更（大会前後に変更）	
		影響が小さい地区での企画	



テレワーク・サテライトオフィス

在宅勤務や、混雑する地区外にあるサテライトオフィス、シェアオフィスなどにおける勤務とすることで、混雑する地区の事業所への通勤者数の削減や同地区で働かれる方の人数を減らすものです。



夏季休暇の活用・振替え休日

期間中の混雑が予想される日において、休暇取得の奨励や振替休日の設定などを行うことにより、出勤される方の人数を減らし、通勤混雑や業務移動混雑を回避するものです。



勤務場所の一時変更

複数の事業所を持つ企業などにおいて、混雑する地区への出勤から、地区外の事業所において一時的に勤務できるようにすることにより、混雑する地区での通勤者数や働かれる方の人数を減らすものです。



対面協議、会合の日程変更

期間中の混雑が予想される日や時間帯の対面協議や打合せの日程を、大会期間前や大会期間後、または混雑が無い日に変更をいただくものです。

御社への来訪者や、職員の方の外出を控えることが出来ることで、混雑する時間や場所における車のご利用や鉄道の利用削減に繋がるものです。



対面協議、会合の方法の変更

期間中の混雑が予想される日や時間帯の対面協議や会合を、電子メールや電話による協議、テレビ会議などに変更することで、従業員の方の外出や来訪される業務先の方の移動を減らすものです。



電子契約やオンライン受発注の採用

契約や受発注などを電子契約やペーパーレスに変えることで、紙の事務処理を行うための従業員の方の出勤や業務対応の移動を減らすものです。



交通手段の変更

通勤時の道路の混雑や鉄道の混雑を回避するため、車のご利用から鉄道やバスに、鉄道の利用からバスや自転車、徒歩の通勤に変えていただくものです。車のご利用や鉄道の利用削減に繋がるものです。



時差通勤

混雑する時間帯を回避するために通勤時間帯を早める、又は遅くすることで、混雑する時間や場所における車のご利用や鉄道の利用削減に繋がるものです。



ローテーション通勤

曜日や日にち等により出勤する人、テレワーク等をする人を事前に取り決め運用することで、混雑する時間や場所における車のご利用や鉄道の利用削減に繋がるものです。

・物の流れに関する取組項目

物の移動についても接触機会を減らすことは、感染症対策にも役立ちます。

取組としては、商品の配送方法の変更だけでなく、宅配ロッカーによる受取や置配など接触機会を減らす工夫もご検討をお願いいたします。またオフィスで使うコピー用紙の納品やゴミ収集等についても、量や回数等の削減のご検討をお願いいたします。

表7 物の流れに関する行動と取組メニュー例

行動	分類	取組メニュー例
荷物発送 (発荷主)	量・回数を減らす	まとめ納品／返品・廃棄の抑制／共同配送／宅配便の営業所持ち込み/仕訳伝票の規格化への協力/パレット・クレート・段ボールの規格化への協力/
	時期・時間をずらす	納品時期の調整（大会前後、半年前等に変更）／夜間発送／昼間オフピーク発送
	場所・ルートを変える	影響が小さい地区の生産拠点・保管拠点の活用
荷物受取 (着荷主)	量・回数を減らす	まとめ発注・リードタイム（発注間隔）の延長／共同配送／宅配便の営業所引き取り/仕訳伝票の規格化への協力/パレット・クレート・段ボールの規格化への協力/検品レス
	時期・時間をずらす	在庫調整（大会前に受取）／時間指定の変更（朝着→昼間オフピーク着）／夜間受取（検品体制・保管方法の検討）
	場所・ルートを変える	影響が小さい地区の生産拠点・保管拠点の活用
荷物運搬 (物流業)	量・回数を減らす	車両の集約・大型化（荷捌きスペースの確保）／積載効率のアップ（共同化、帰り荷の確保）/仕訳伝票の規格化/パレット・クレート・段ボールの規格化/
	時期・時間をずらす	幹線輸送の夜間シフト
	場所・ルートを変える	影響が大きい箇所（競技会場周辺、ORN、混雑箇所）の回避した走行ルートの設定

ごみや廃棄物の減量

業務中に発生するごみや廃棄物の排出を減らし、ペットボトルや缶などは潰して容積を減らし、事業所全体としてのごみの減量化を行うことで、搬出に必要な車の台数を減らすことが期待されます。

ペーパーレス化

業務で用いている書類などを、電子化し印刷物を減らすことで、期間中に必要な用紙の量が減り、納品される紙も減ることで、配送に必要な車の台数を減らすことが期待されます。

在庫の調整（前倒し、後ろ倒し納品、集荷）

お客様とともに混雑する日を避けた納品や集荷の計画を立て、実施いただくことで輸配送時間の確実性の向上や業務時間の長時間化をさけるものです。

また一時に仕入れや発送する量を多くし、納品や集荷の回数を減らすような取り組みにより配送集荷に必要な車の台数を減らすことが期待されます。



配送時間の変更、時差配送

期間中の混雑時間帯を避けた配送をいただくことで、輸配送の確実性の向上や移動時間の長時間化を防ぐものです。



まとめ配送や集荷、共同輸配送

複数回に分けて運んでいた荷物や物品を、まとめて配送や、集荷をすることで、車による配送台数の削減をするものです。



配送手段の変更（自転車、徒歩への変更）

貨物車で運んでいた荷物や物品の配送、集荷を自転車や徒歩に変更することで、車による配送台数の削減をするものです。



非接触受取

手渡しでの受け取りを、ポスト投函可能な輸送容器への変更や受取手段の方策自体を変更することで非接触による受取となり、感染可能性を削減するものです。
一定量以上の物品受渡においてはパレットを用いるなどにより人手による受渡から機器を使った受渡が可能になる場合もあります。



共同輸配送

集荷や配送などを異なる事業者間で共同で輸送することで、運行車両の削減と輸送コストの削減を図るものです。

・簡易ツール

2020 アクションプラン作成の支援として、2020TDM 推進プロジェクトホームページにおいて、アクションプラン作成支援の簡易ツールを提供しています (https://2020tdm.tokyo/action_tool/)。

Step1～3 の欄に、順に記載していただくと 2020 アクションプランが完成します。

2020アクションプラン

※貴社の実情に合わせて適宜追加、修正ください。

法人名:		所在:					従業員数:		
大区分	中区分	Step1	Step2			Step3			
		取組む事項 記入方法 取組めそうな事項を タブから選択してください	内容 取組む内容を 記入してください	いつ 取組む時期を 記入してください	誰が 取組む対象者を 記入してください	規模 取組む規模を 記入してください	責任者/部署 取組推進の責任者(部署)を 記入してください	確認方法 実施の確認方法を 記入してください	
人の流れ	通勤	例 テレワーク(在宅勤務)	テレワーク勤務の実施	2021年7月中旬から8月第1週	営業部/本社勤務社員	80%程度	総合企画部/情報管理部	ログイン記録	
		1 取組めそうな通勤対策はありますか？							
		2							
		3							
		4							
		5							
	業務移動	例 研修、イベント時期の変更(期の中から期中外へ)	幹部研修の時期変更	7月開催を9月下旬開催に	幹部研修対象者	全開催会	人事部研修企画チーム	開催予定簿	
		1 取組めそうな業務移動対策はありますか？							
		2							
		3							
		4							
		5							
	モノの流れ	業務関連	例 商品やコピー用紙の納期の変更	コピー用紙の削減し発注、ストック	2021年7月4週から8月2週分を2021年7月第3週中に	庶務係	2週間分	庶務課長	納品指定日入りの発注書
			1 取組めそうな業務関連対策はありますか？						
			2						
製造・調達		例 早期、深夜の配送、納品	ABC工場からの都内物流センター向け製造品出荷の早期への変更	2021年7月15日から8月10日	ABC工場ロジスティクス部門	都内顧客向けの全量	販売支援部/ABC工場物流部長	納品書	
		1 取組めそうな製造・調達対策はありますか？							
		2							
		3							

図17 アクションプラン作成支援簡易ツールのイメージ

3-2 交通混雑の影響を受けそうな日、時間帯を影響度マップ等で確認

・ 交通混雑の影響を受けそうな場所や日時を確認しましょう。

御社や取引先が、大会による交通混雑の影響を受けそうかどうか、大会輸送影響度マップでご確認ください。

・ 影響度マップの前提条件（何も対策を行わなかった場合の状況）

大会輸送影響度マップでは大会期間中に「何も交通対策を行わなかった場合」に、道路や鉄道等に生じる影響について、日・時間帯毎にお示ししています。

各競技会場周辺の影響度マップでは、日毎に、選手などが乗っている車や、徒歩で移動する観客が、どの時間に多いかを示しています。

表8 大会輸送影響度マップの種類

対象種類	都内全域		特定施設周辺
区分	道路	鉄道	競技会場
内容	高速道路 一般道路	鉄道路線（駅間） 駅内	競技会場周辺

大会輸送影響度マップは、2020TDM 推進プロジェクトホームページ (<https://2020tdm.tokyo/map>) で、ご確認ください。

● 高速道路の影響度マップ

首都高速道路の路線別に矢印[↑][▲]が時間帯毎の普段と比べた影響の見込みを示しています。

● 一般道路の影響度マップ

混雑の見込みについて、エリア（面）で示しています。濃い赤い着色のところほど普段と比べて通過時の所要時間の遅れが見込まれています。

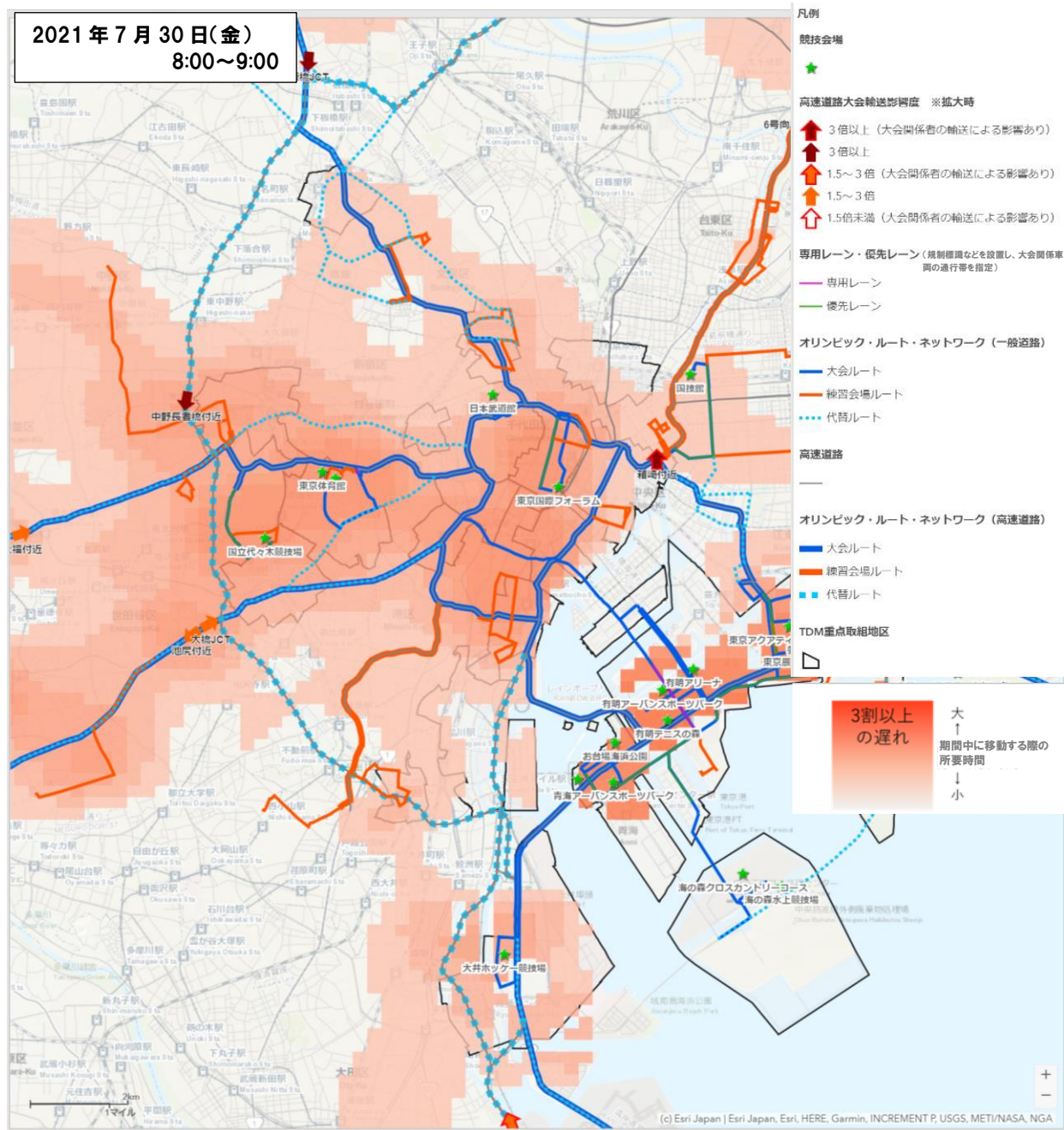


図19 高速道路と一般道路の影響度マップ例

● 鉄道（路線）と鉄道（駅）の影響度マップ

赤色の路線は観客等の影響で普段よりも「かなり混雑」が見込まれている区間、桃色の路線は観客等の影響で「やや混雑」が見込まれている区間となります。

駅については、普段のピーク時間帯よりも混雑が見込まれる駅を着色しています。



路線

- かなり混雑（観客等の影響がある）
- かなり混雑（観客等の影響がほとんどない）
- やや混雑（観客等の影響がある）
- やや混雑（観客等の影響がほとんどない）

駅 朝ラッシュ時間帯（7:00～10:00）

- 普段の朝ラッシュよりも混雑（観客等の影響がかなりある）
- 普段の朝ラッシュよりも混雑（観客等の影響がある）

図20 鉄道および駅の影響度マップ例

・ 競技会場周辺

各競技会場の周辺で、大会関係車両や観客の影響のある時間帯や路線を示しています。濃い緑色の線は関係車両の通行が「多い」路線、黄緑色の線は「比較的多い」路線となります。

赤い線は観客の徒歩ルートで入場の「通行あり」の路線、青い線は退場で「通行あり」の路線となります。

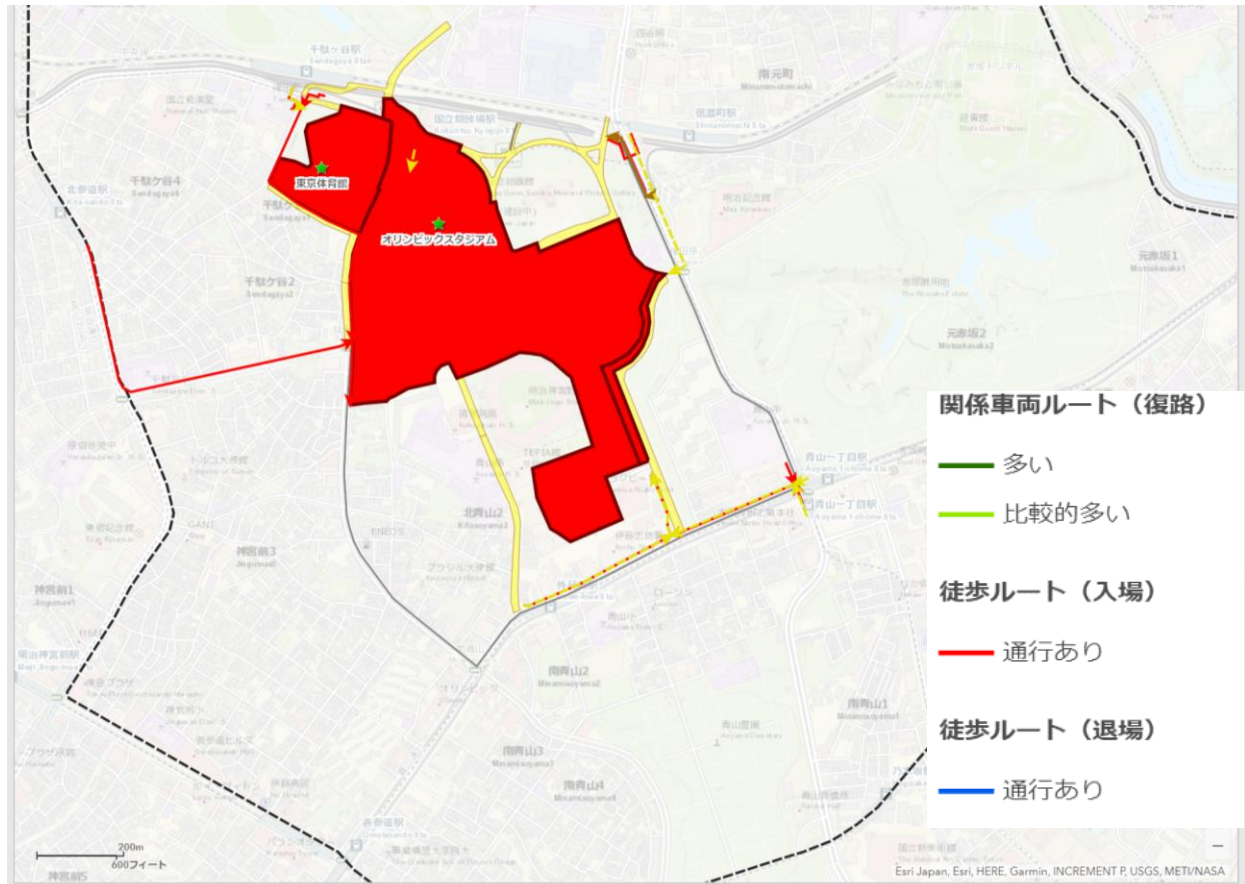


図21 競技会場(オリンピックスタジアム)周辺の例

・ 影響度マップ等を活用して対策を検討

影響度マップを活用いただくと、日にちや時間帯により普段より移動に時間がかかる路線や地区、車内の混雑する路線などを確認することができます。車や鉄道を使った人やモノの移動について、どの時間帯にずらしたらよいか、どのルートを選べたらよいかが見えてきます。以下、対策検討の具体例を3つご紹介します。

① 時間をずらす（鉄道）

日常的な通勤や業務の移動では、特定の時間帯に鉄道利用が集中している場合があります。

地区によっては、そのような時間帯に競技会場に行き来する観客の方の鉄道利用が重なる時間帯が複数生じる場合があります。

この結果、大会時に何も対策を行わない場合には、鉄道の従来の混雑区間以外にも「かなり混雑」になる路線も複数あります。

ただし混雑は終日続くわけではなく、下記の例ではピークの7～9時を避けて、9時～10時であれば、多くの路線で混雑しない又は緩和することが見込まれます。

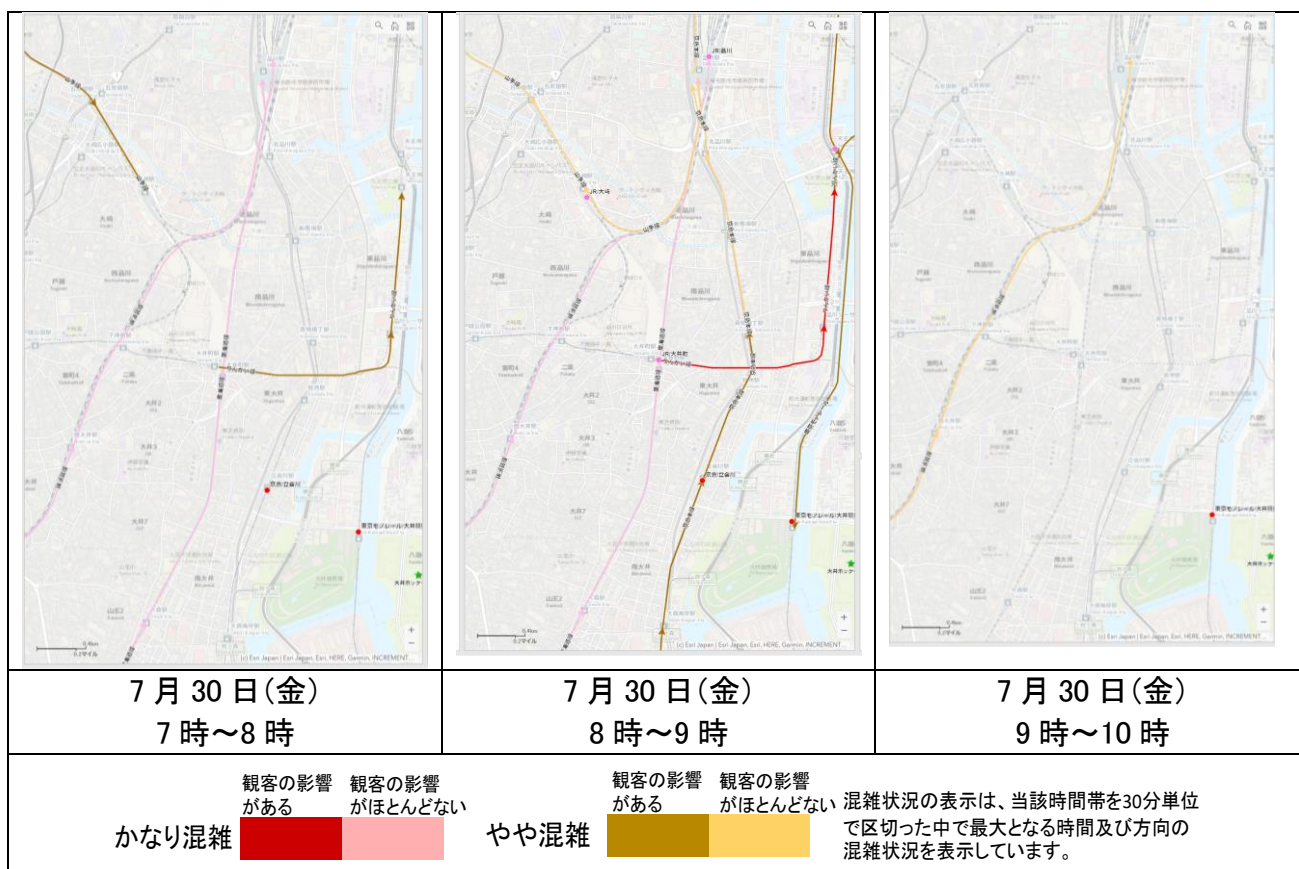


図22 複数の時間帯の鉄道の影響度マップ例

② ルートを変える（高速道路）

首都高速道路は選手などの大会関係者の移動に使われるため、影響が大きいと見込まれる時間帯が、日中を中心に多くあります。

ただし大会関係者が利用するルートは事前に公表されており、それ以外のルートを用いて移動すれば混雑を予想される路線を迂回できる可能性があります。

品川から都心環状線経由で埼玉・茨城・東北方面に向かう際には、都心環状線をさけて中央環状線経由に変更することで、業務での車を使った移動や、荷物の発送・受取・運搬への影響を少なくできます。

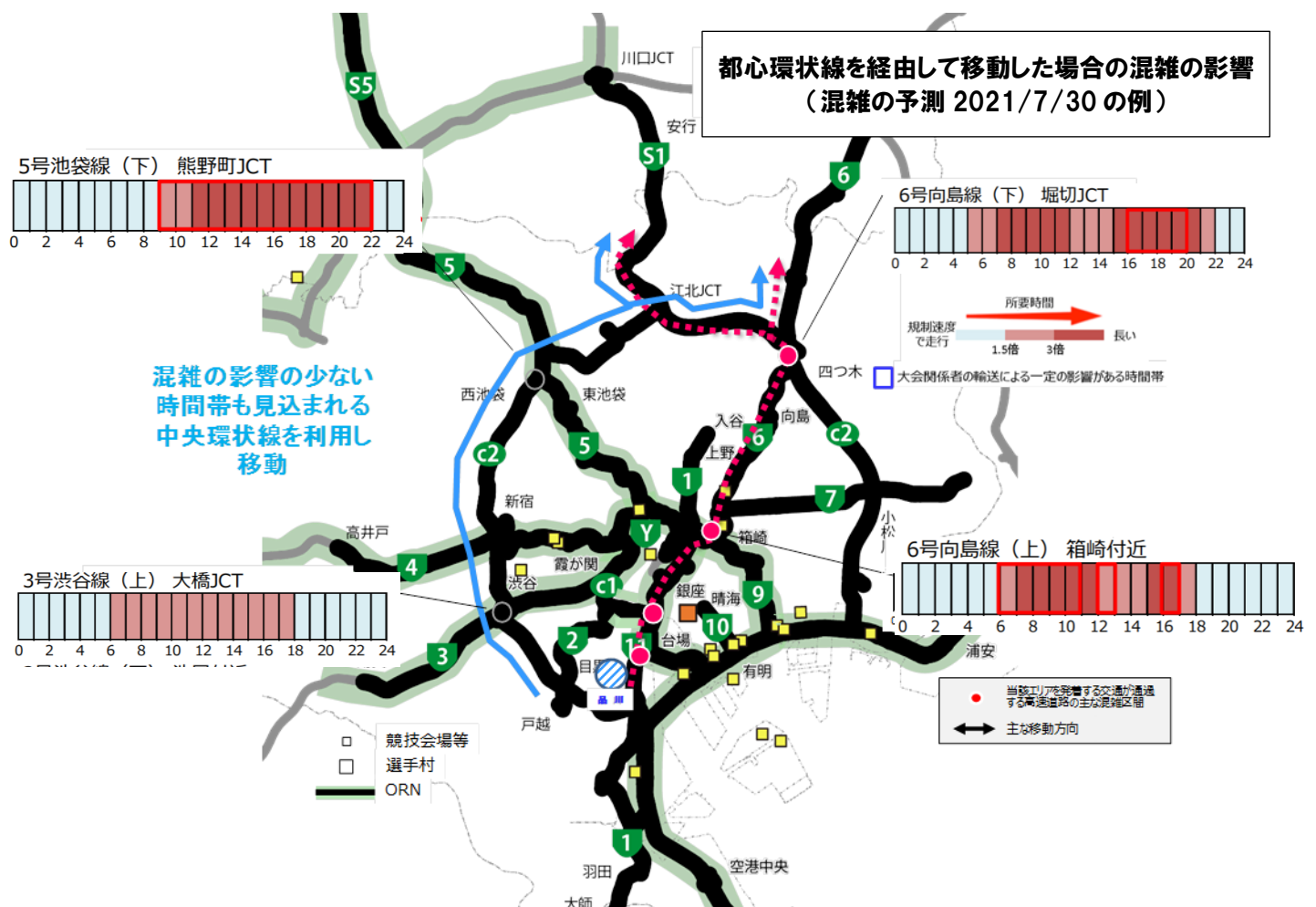


図23 高速道路の混雑と迂回ルートの例

資料) 混雑時間帯情報 https://2020tdm.tokyo/map_pdf/douro/olympic/douro_kousoku_oly.pdf

③ 時間をずらす（一般道路）

一般道路のうち、選手村やメディアセンター、競技会場が集中する東京ベイゾーン地区は大会輸送の影響が大きくなることを見込まれています。

特に台場、豊洲、有明、辰巳などのエリアは、一般道路においても選手や大会関係者の行き来するルートが複数設定されており、影響が大きいと見込まれます。下図の例では、8～15 時台が影響の大きい時間帯です。混雑を回避するためには、そのような時間帯を避けて、例えば早朝や深夜の時間帯の活用など、時間をずらすことも効果的です。

経路別変化時間は「大会時の遅延等を想定した所要時間・経路探索システム」（2020TDM 推進プロジェクト登録者限定）においても、道路利用時の2点間の経路別の所要時間と鉄道利用時の利用路線や所要時間を比較して確認ができます。

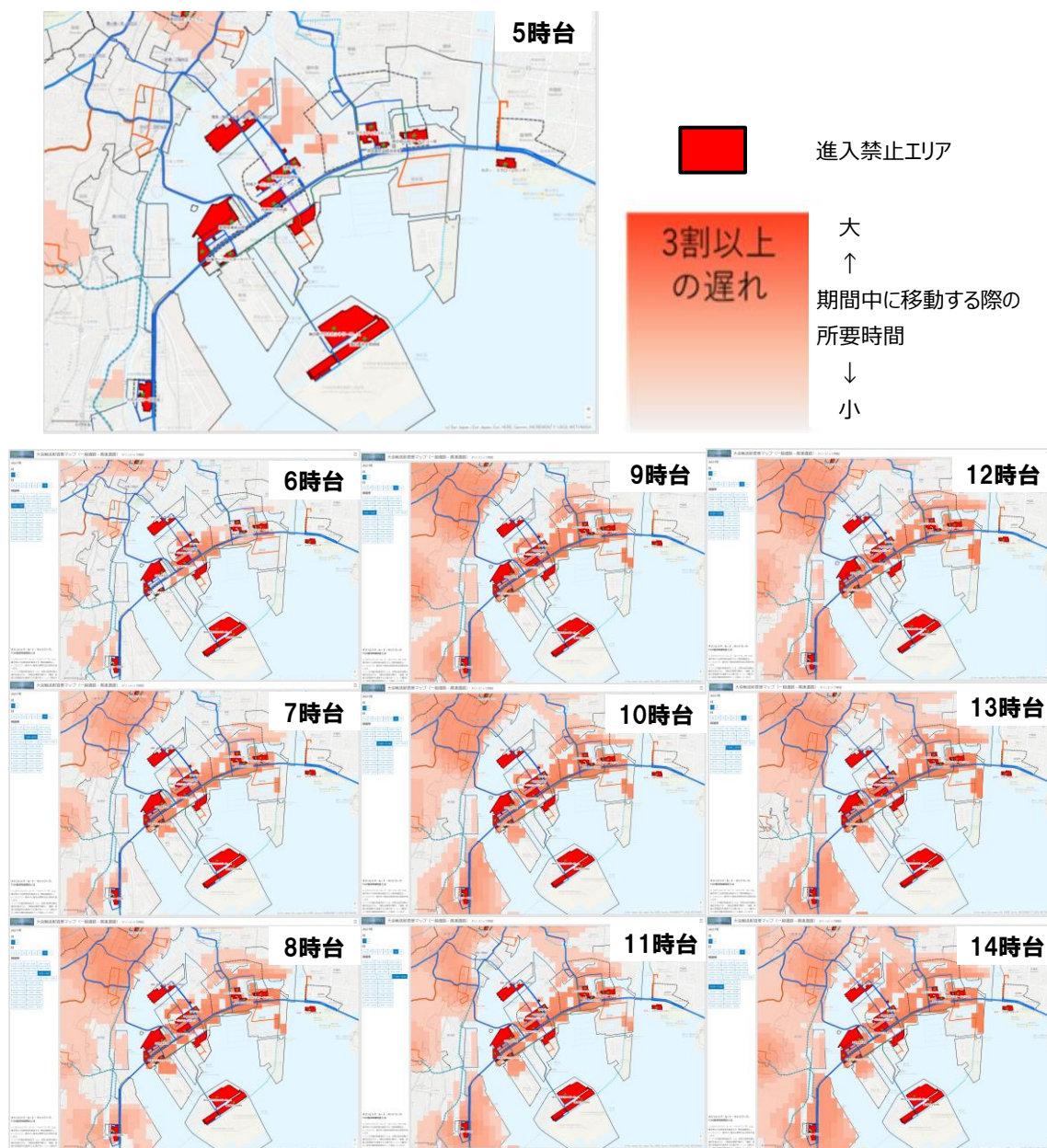


図24 一般道路の時間帯別の遅れ状況の例(2021年7月30日)

・ 会場周辺では交通対策も合わせて確認して対策を検討

会場周辺では、大会関係者以外は入れない進入禁止エリア、通過交通（車両）は通れない通行規制エリア、通過交通（車両）には迂回をお願いする迂回エリアが設定されます。

普段、会場周辺を通過する経路をご利用されている場合には、交通対策が実施されている期間中は迂回をご検討ください。進入禁止エリアを除き、居住者に加え業務や施設利用等その他所用のある車両などは原則、通行可能です。

また、大会関係者の車両が通る大会ルートにおいて、一部で専用レーンや優先レーンが設定されます。専用レーンでは大会関係車両以外の車両は通行できません。優先レーンについては、大会関係車両が通行していないときは、通行可能です。

詳細は会場周辺交通対策（<https://2020tdm.tokyo/traffic/index.html>）を参照ください。

オリンピック・パラリンピック東京大会において、競技会場等周辺一般道における交通混雑を緩和するため、主に以下の交通対策を実施する予定です。

区 分	目 的	方 法	対 象 等
①進入禁止エリア (セキュアペリメーター)	競技会場等の設置	会場等を囲む物理的なフェンス等を設置	大会関係者以外の車両や歩行者、自転車は通行不可
②通行規制エリア (会場直近対策)	通過交通の規制	規制標識を設置し通過交通を制限	通過交通は通行不可※ 歩行者・自転車は原則、通行可
③迂回エリア (トラフィックペリメーター)	通過交通の抑制	案内看板や広報等により、会場直近を通り抜けしようとする車両の迂回を促す	通過交通は迂回※ 歩行者・自転車は原則、通行可
④専用レーン、優先レーン (専用通行帯、優先通行帯)	大会関係車両の 定時性確保	規制標識等を設置し、大会関係車両の 通行帯を指定	専用レーン：大会関係車両以外通行禁止 優先レーン：大会関係車両が通行していない場合は通行可

※居住者に加え業務や施設利用等その他所用のある車両などは原則、通行可。

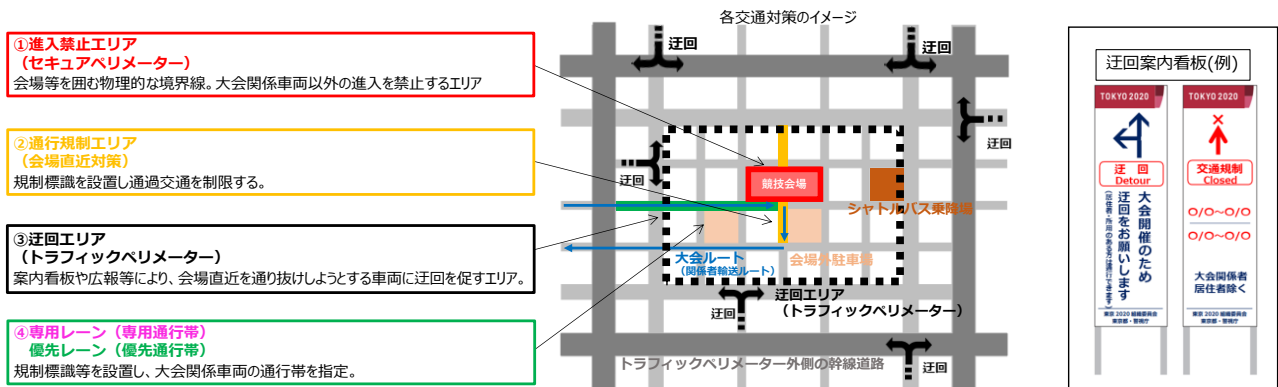


図25 会場周辺の交通対策

出典)会場周辺交通対策(2021.3) <https://2020tdm.tokyo/traffic/index.html>

3-3 活用できそうな各種支援策を確認

・ 国、東京都による TDM 関連取組支援策

TDM に関わる取組をされる企業に対して国や東京都では、次のような支援を行っています。

● テレワーク、働き方関連

厚生労働省	
時間外労働等改善助成金 (テレワークコース) https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/jikan/syokubaisikitelework.html	時間外労働の制限その他の労働時間等の設定の改善及び仕事と生活の調和の推進のため、在宅又はサテライトオフィスにおいて就業するテレワークに取り組む中小企業事業主に対して、その実施に要した費用の一部を助成するものです。
東京都	
ワークスタイル変革コンサルティング http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/hatarakikata/telework/workstyle/	東京都内の中堅・中小企業等を対象に、業務改善や ICT の専門家を最大 5 回まで無償で派遣し、テレワーク導入に向けた支援を行います。
業界団体連携によるテレワーク導入促進事業 http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/hatarakikata/telework/gyoukai/	業界をあげてテレワーク導入に積極的に取り組む業界団体等に対して、会員企業への取組(テレワーク導入コンサルティング等)に要する費用を補助します。
はじめてテレワーク (テレワーク導入促進整備補助金) https://www.shigotozaidan.or.jp/koyo-kankyo/joseikin/telework.html	東京都が実施するテレワーク導入に向けたコンサルティング(ワークスタイル変革コンサルティングや、業界団体連携によるテレワーク導入促進事業)を受けた都内の中堅・中小企業等に対して、テレワークをトライアルするための環境構築経費、および制度整備費を補助します。
テレワーク活用・働く女性応援助成金 (テレワーク活用推進コース) http://www.shigotozaidan.jp/koyo-kankyo/joseikin/joseikatsuyaku.html	東京都内の中堅・中小企業等を対象に、働き方改革の推進に向けたテレワーク環境の整備(テレワーク機器導入および民間サテライトオフィスの利用)に伴う費用の一部を助成します。

注)2021年3月下旬時点の掲載情報に基づく。

東京都	
(参考) サテライトオフィス設置等補助事業 https://www.hataraku.metro.tokyo.jp/hatarakikata/telework/satellite/	職住近接を可能にするサテライトオフィス整備を後押しするため、企業・団体等が市町村部に新たに開設するサテライトオフィスの整備・改修費、運営費を補助します。(令和2年度受け付けは終了)
働き方改革助成金 https://hatarakikata.metro.tokyo.jp/jyosekin/	新たに整備した制度において、計画期間中に助成要件を満たした利用実績があった場合に助成金を支給します。

注)2021年3月下旬時点の掲載情報に基づく。

● 休暇取得

厚生労働省	
年次有給休暇の時季指定義務 https://www.mhlw.go.jp/content/000350327.pdf	2019(平成 31)年4月から、全ての企業において、年 10 日以上 of 年次有給休暇が付与される労働者に対して、年次有給休暇の日数のうち年5日については、使用者が時季を指定して取得させることが必要となりました。
年次有給休暇の「計画的付与制度」 http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/jikan/sokushin/summary/	有給休暇の付与日数のうち、5 日を除いた残りの日数を計画的付与の対象とできるものです。 企業、事業場の実態に応じ(1)企業もしくは事業場全体の休業による一斉付与方法、(2)班・グループ別の交替制付与方法、(3)年次有給休暇付与計画表による個人別付与方法などさまざまな方法を選択して活用できます。
働き方・休み方改善コンサルタント https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11200000-Roudoukijunkyou/0000165088.pdf	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現のため、働き方や休み方の見直しに取り組む企業に、専門家が無料でアドバイスや資料提供等の支援を行います。

注)2021年3月下旬時点の掲載情報に基づく。

● 交通手段転換関連

環境省	
(参考) 令和2年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(交通システムの低炭素化と利用促進に向けた設備整備事業) https://www.env.go.jp/press/108312.html	公共交通機関あるいはそれらを補完する交通システムについて、域内の交通利便性を高め、マイカーから公共交通機関等の低炭素な交通手段への転換及び公共交通機関の低炭素化を促進するために必要な設備等の整備を支援する。 (令和2年9月11日(月)受け付けは終了)

注)2021年3月下旬時点の掲載情報に基づく。

● 物流効率化関連

国土交通省	
(参考) 令和2年度トラック輸送における省エネ化推進事業 https://www.mlit.go.jp/report/press/jidosh_a04_hh_000219.html	トラック事業者と荷主が連携して物流全体の効率化を図ることで、トラック輸送の省エネ化を推進するため、トラック事業者に対して、車両動態管理システム等の導入を支援するものです。 (令和2年9月18日(金)受付は終了)
東京都	
東京における地区物流効率化認定制度 https://www.toshiseibi.metro.tokyo.lg.jp/sinsei/si_tikubutu.htm	運送事業者、建物管理者、商店街関係者や荷主企業など、複数の事業者等が連携のもと、区市等とも調整して作成した地区物流の効率化に資する計画について、その申請者に対して、荷捌きスペースの優遇的な利用や金融面での支援を行うものです。

注)2021年3月下旬時点の掲載情報に基づく。

第4章 試して課題を探る



4-1 アクションプランの試行

・ (事例) 都庁版アクションプランに基づく2019夏の取組み

東京都庁では策定中のアクションプランを踏まえ、次のような取組を2019年夏に試行として実施しました。

<2019年夏の取組内容(抜粋)>

取組項目	取組内容(いつ・どのくらい)	責任者	実施に向けた推進・確認方法	
オフピーク通勤の実施	集中取組期間中は、原則大会時と同程度の規模を想定して、時差出勤やテレワーク等を実施(さらに最重点取組として「都庁完全オフピーク」、「出勤者の徹底抑制」、「全員テレワーク」を実施)	人事担当課長	- 職員の取組予定表を作成 - 実施による課題等を把握し検証	朝ピーク時間帯等の鉄道混雑を緩和
備品やコピー用紙等の納品時期の変更	本庁や出先事業所において、集中取組期間前に事務用品をまとめて納品し、期間中の納品ゼロ	庶務担当課長	- 期間中に必要となる品目・数量を集計し、事前に発注 - 納品実績を集計、アンケート等により課題等を検証	道路混雑を緩和
コピー用紙・ごみの削減	ペーパーレス化の推進、古紙等ごみの搬出前・後倒し、粗大ごみ回収時期の変更等により、ごみを削減(大会時の目標:ごみ削減約40%)	庶務担当課長	- 期間中に発生する古紙等ごみは会議室等へ保管 - ごみ総量を集計し、前年同時期と比較	- 配送車両の削減 - ごみ収集車両の削減 - 工事関係車両の削減 - 業務車両の削減
都庁発注工事の調整	施工中の道路、上下水道等の約6割の工事において、工事車両の現場出入り時間の調整や、休工日の変更等を実施	工事主管課長	- 工事受注者に趣旨を説明し、実施の協力を依頼 - 職員や事業者へのアンケート等により課題等を把握	
庁有車利用の抑制	本庁や出先事業所で利用を控え、利用が必要な場合も高速道路等の利用を控える	庶務担当課長	- 庁有車利用が必要な業務は、期間外の変更に向けて事前に調整 - 利用実績を集計し、課題等を把握	

<今後の取組>

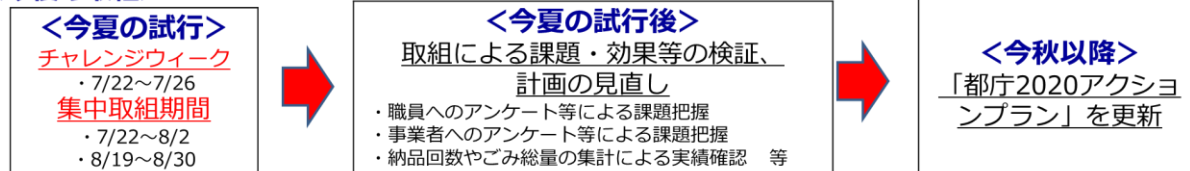


図26 2019年夏の取組概要

4-2 試行から課題の洗い出し

試行することで、取組に際しての課題を洗い出すことができます。
例えば、次のような課題が考えられます。

- ・取引先への告知や広報が不十分だった
- ・必要な物品が届かず、業務に支障が生じた
- ・部署と部署の連携が十分でなかった
- ・協力会社の運用も合わせて行わないとできない

4-3 アクションプランの修正

各企業で、取組の準備が必要な項目やその規模は異なります。試行で把握した課題に対する対策を 2020 アクションプランに盛り込むことで、御社のアクションプランが、より効果的な計画になります。

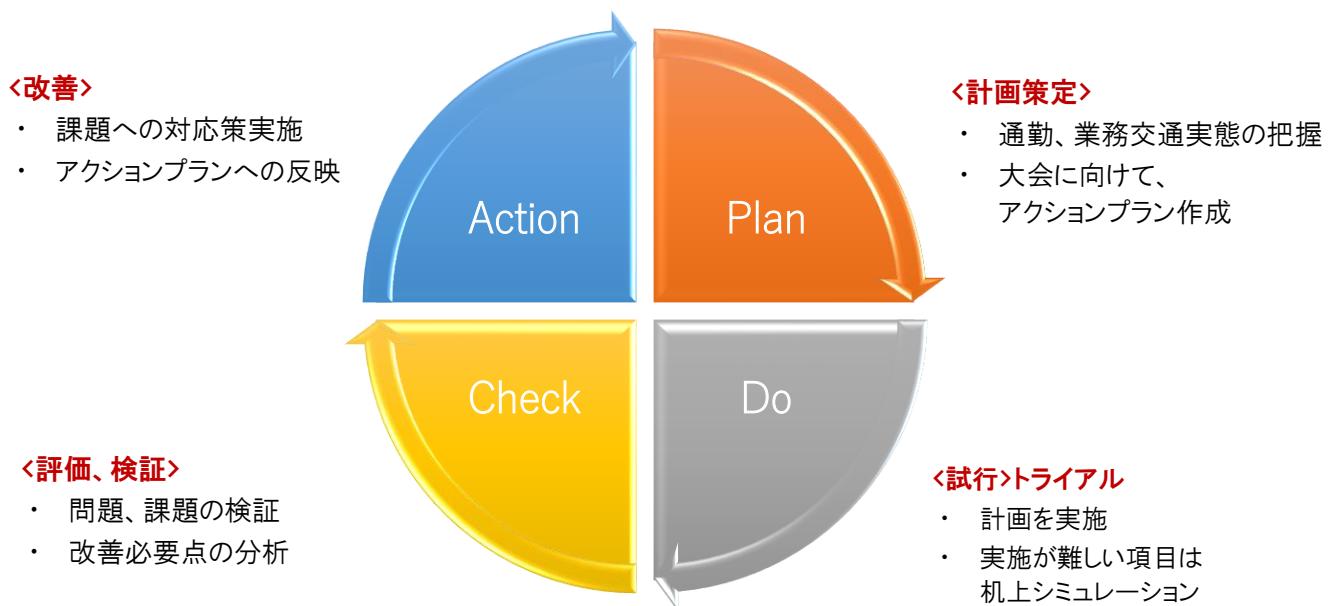
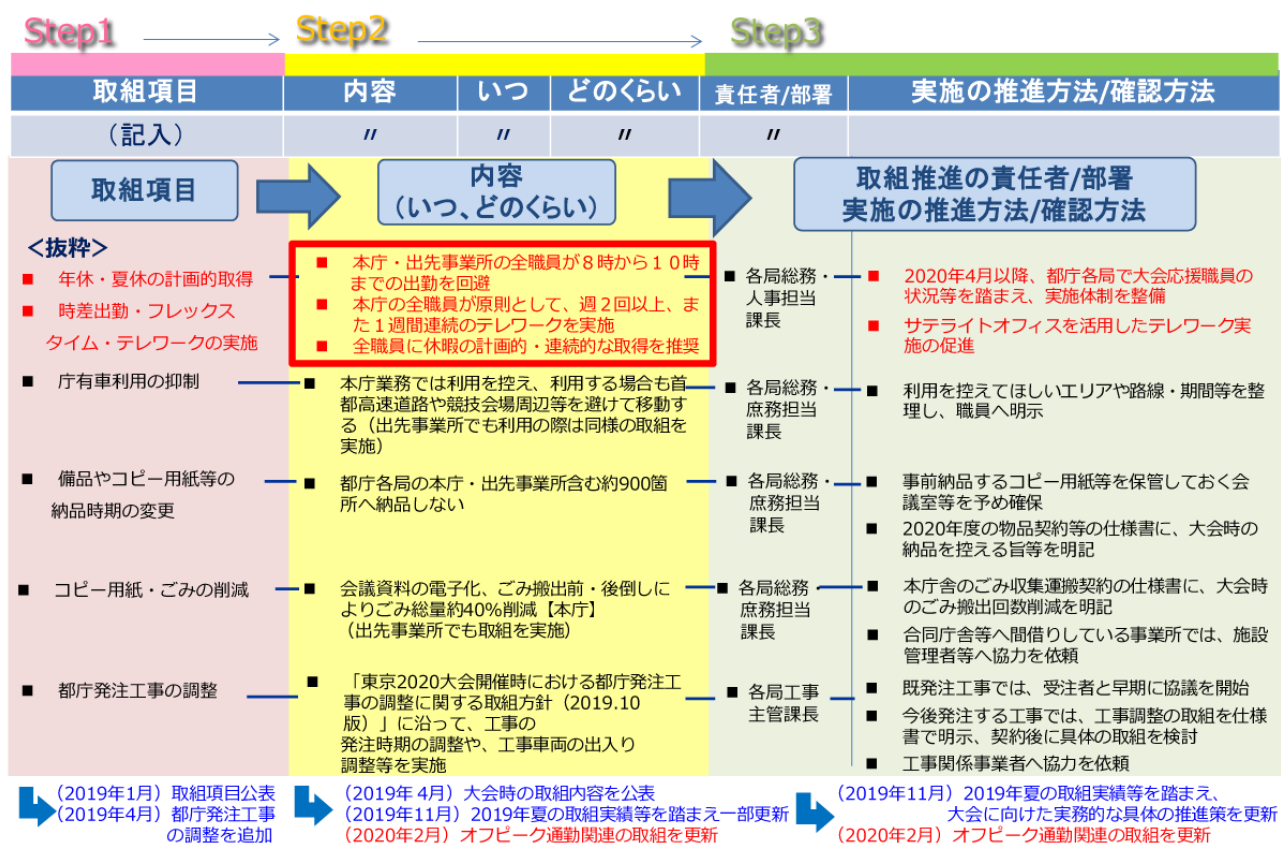


図27 アクションプランに係る PDCA サイクル

都庁アクションプランの作成ステップ

- ◆Step 1 : 対応可能な対策から取組項目の抽出 (2019年1月25日公表)
- ◆Step 2 : 具体的な取組内容・規模・実施期間の設定 (2019年4月12日公表)
(2020年2月21日更新)
- ◆Step 3 : 取組推進の部署等と、実施の推進・確認方法の決定 (2019年7月1日公表)
(2020年2月21日更新)



※今後も適宜修正をしていきます。

図28 アクションプラン作成のステップ

参考1 コロナ禍における企業取組

・ 団体・企業等の取組事例

コロナ禍での企業等の取組は大会時にも役立ちます。団体や企業等においては、次のような取組をされています。

・ 人の移動 ①



● 6パターンの時差通勤を試行と社員課題を把握しながら導入、段階定着

業種： 製造業	対象事業所 従業員数：200～299人	住所： 東京都新宿区	文具メーカー
------------	------------------------	---------------	--------

取組のポイント

- ✓ 100年以上続く老舗企業で新たにテレワークを導入
- ✓ 定時出社を6パターンの出勤時間選択型に変更
- ✓ 社内アンケートで新たな取組・従業員の状況を把握し、アンケート結果を踏まえてトライアルを企画・検討・実行

◆ 人の流れ：最大50%減

◆ モノの流れ：最大20%減

2020年
5月 3割出社
6月 5割出社
7月 7割出社
10月 全員出社

↓

対象部署で
3カ月程度の
在宅勤務トライアル
を企画・実施

【人の流れ】

- オリパラを見据えて準備していたテレワークを前倒しで導入（2019年12月から準備、2020年4月導入）
- テレワークの対象者は、工場の現場社員以外
- 状況に応じて出社割合を調整
- 在宅勤務で生産性が極めて落ちてしまう部署を確認したため、在宅勤務に対する検証を実施するため、一度基本出社に戻した
- 社内アンケート結果を受け、3か月程度を目安に在宅勤務を改善するためのトライアルを実施
- 通常は9:00～17:30、今は30分刻みで6パターン設定
7:30～16:00勤務から30分刻みで10:00～18:30勤務まで（2020年2月から準備、2020年3月導入）
- WEB会議に関するマニュアルや掲示板で情報共有

【物の流れに関する取組】

- 導入しやすい部門内の承認印をデジタル化

◆ 今後の取組予定：

- ・ 在宅勤務などを継続実施予定

◆ 対策により得られた効果：

- ・ 時差通勤拡大適用で、育児で時短勤務だった従業員がフルタイムでも勤務可に

◆ 今後の課題：

- ・ 物品を確認しながらの打ち合わせがオンライン化できない
- ・ 古くからの業界であるため、顧客によっては継続して対面打ち合わせを希望される

・ 人の移動 ②



●導入コンサルティング活用から事前準備進めスムーズな導入

業種： 医療、福祉	対象事業所 従業員数：10人	住所： 東京都千代田区	都心 クリニック
--------------	-------------------	----------------	-------------

取組のポイント

- ✓ テレワークコンサルティングを受け各種の事前準備
- ✓ テレワーク可能な管理系部署は、ローテーションでテレワーク勤務を実施
- ✓ 大会に備えてオンライン診療・電話診察の切り替え準備が功を奏し、コロナ禍の開始も円滑かつオンライン診療利用者は、従前の20倍ほどまで増加
- ✓ 備品購入とクリーニングの受取・受渡しが週1回から2週間に1回に変更

◆人の流れ：最大50%減

◆モノの流れ：最大90%減

【人の流れ】

- 2019年6月頃ワークスタイル変革コンサルティングに申込み、テレワークの準備
- テレワーク勤務が可能な経理・総務・人事部門のみ、ローテーションでテレワーク実施

【モノの流れ】

- 備蓄のできる物の購入を週1回から2週間に1回に変更
- クリーニングの受取・受渡も週1回から2週間に1回に変更

【業務運用】

- オリパラに備えてリモート、オンライン診断に切り替え可能だったため緊急事態宣下に対応。現在はオンライン診療利用者は、もともとの20倍に増加。対面での診察・人間ドック等を受ける患者は5割減。企業等に合わせて産業医対応も100%オンライン化
- 処方箋は患者の最寄りの薬局までFAXし、原本は郵送している
- コロナ禍に電話やオンライン診療の流れに関するホームページを約2日で開設
- ホームページを見られない患者のため、オンライン診療に関する紙資料を配布

◆今後の取組予定：

- ・ 現在の取組を継続する

◆対策により得られた効果：

- ・ オンライン診療を利用した患者からは、「移動時間が短縮でき、新型コロナウイルス感染症対策になった」と高評価を得ている
- ・ テレワーク勤務を行っているスタッフから「テレワーク勤務を続けたい」という意向を聞いている

◆今後の課題：

- ・ 臨時的な法令にしたがって診療報酬を計上しているため、通信費等は医院で負担している

・物の移動 ①



●陸揚げコンテナの顧客直送で移送距離の削減と早期納品を両立

業種： 製造業	対象事業所 従業員数：約30人	住所： 東京都港区	IT機器販売 取扱い事業者
------------	--------------------	--------------	------------------

取組のポイント

- ✓ コンテナを自社倉庫へ入れずにそのまま代理店の倉庫へ運び輸送の効率化
- ✓ 事務部門は原則在宅勤務、営業系部門は奇数日と偶数日で分けて時差出勤
- ✓ 在宅勤務の環境づくりのため、自社のPCモニターとプリンターなどを社員の自宅に郵送

◆人の流れ：最大70%減

◆モノの流れ：取扱量30%増

【モノの流れ】

- 従来は港に着いたコンテナを自社倉庫に運び、開梱し複数の代理店に発送で輸送経路の重複や複数回発送
- テレワーク増加などで需要が増え逼迫した時期、港に着いたコンテナを自社倉庫へ入れずにそのまま代理店の倉庫へ輸送
- 自社倉庫内での作業費用削減と早期の納品を実現、輸送台数の削減につながった

【業務運用】

- 当初は伝票をFAXや郵便などでやり取りしていたが、現在はデジタル化が進展してメール添付で処理できるようになった
- WEB会議を頻繁に利用しており、顧客も含めてほぼオンライン対応可能に
- オンラインによる商品のデモンストレーションも実施

【人の流れ】

- 事務部門は「原則在宅勤務」、営業や故障対応などの顧客のところへ出向く必要があるサービス部門は奇数日と偶数日で分けて時差出勤
- 在宅勤務の環境づくりのため、自社のPCモニターとプリンターなどを社員の自宅に郵送

◆今後の取組予定：

- ・ 出社する場合は時差出勤、出社する必要がなければテレワークの取組を継続する見込み

◆対策により得られた効果：

- ・ コロナ禍をきっかけに始めた在宅勤務がベシクになってきている

◆今後の課題：

- ・ コンテナを自社倉庫に入れずに代理店の倉庫に運ぶ取組では、どの顧客への納品を優先するかという悩ましい問題に直面した
- ・ 社内での不公平感・出社に対する考え方のギャップをどう埋めるか

●大会に備えたコンサルティング活用で共同輸送の採用に発展

業種： 運輸業、郵便業	対象事業所 従業員数：300人	住所： 東京都江東区	百貨店等向け 輸送納品サービス他
----------------	--------------------	---------------	---------------------

取組のポイント

- ✓ コンテナを自社倉庫へ入れずにそのまま代理店の倉庫へ運び輸送の効率化
- ✓ 事務部門は原則在宅勤務、営業系部門は奇数日と偶数日で分けて時差出勤
- ✓ 在宅勤務の環境づくりのため、自社のPCモニターとプリンターなどを社員の自宅に郵送

◆人の流れ：最大70%減

◆モノの流れ：取扱量30%増

【モノの流れ】

- 従来は港に着いたコンテナを自社倉庫に運び、開梱し複数の代理店に発送で輸送経路の重複や複数回発送
- テレワーク増加などで需要が増え逼迫した時期、港に着いたコンテナを自社倉庫へ入れずにそのまま代理店の倉庫へ輸送
- 自社倉庫内での作業費用削減と早期の納品を実現、輸送台数の削減につながった

【業務運用】

- 当初は伝票をFAXや郵便などでやり取りしていたが、現在はデジタル化が進展してメール添付で処理できるようになった
- WEB会議を頻繁に利用しており、顧客も含めてほぼオンライン対応可能に
- オンラインによる商品のデモンストレーションも実施

【人の流れ】

- 事務部門は「原則在宅勤務」、営業や故障対応などの顧客のところへ出向く必要があるサービス部門は奇数日と偶数日で分けて時差出勤
- 在宅勤務の環境づくりのため、自社のPCモニターとプリンターなどを社員の自宅に郵送

◆今後の取組予定：

- ・ テレワーク可能な部署ではテレワークを継続中

◆対策により得られた効果：

- ・ 本プロジェクトの個別コンサルティングを受け、大会期間中の納品頻度を他社と共に1日1回に減らす方向で話し合っていたためコロナ禍での共同輸送につながった
- ・ 臨港地区立地で交通不便であったが、WEB会議導入で交通費削減にもなり、利点が多い

◆今後の課題：

- ・ テレワーク可能な部署と不可能な部署との間での不公平感

参考2 都庁2020アクションプラン

取組項目	内容	いつ	どのくらい	責任者	実施に向けた推進・確認方法
年休・夏休の計画的取得	職員（都立学校教員を含む）に、大会期間中の年休・夏休の計画的かつ連続的な取得を推奨する。	2020年7月24日から8月9日まで、8月25日から9月6日まで	職員（知事部局等・公営企業）約4万人、都立学校教員約1.6万人へ呼びかけ（※1）	各局総務・人事担当課長	2020年4月以降、都庁各局の大会応援職員の状況等を踏まえ、各局で実施体制を整備 - 年間の休暇取得計画作成推奨等による計画的休暇取得の促進 - サテライトオフィスを活用したテレワーク実施の促進
時差出勤・フレックスタイム・テレワークの実施	毎日オープニング通勤を実施する。 ○本庁・出先事業所の全職員が、8時から10時までの出勤を回避（8時以前、10時以降の始業に分散） ・競技会場周辺の出先事業所等では、観客利用が多い時間帯も加味して出勤・朝型勤務（8時始業以前）を推奨	（そのうち、テレワーク・休暇取得を集中的に実施する日を設定） ・7月27日(月) ・7月31日(金) ・8月7日(金) ・8月25日(火) ・9月1日(火) ※特に交通混雑が想定される日やパリンピック開会日	都庁本庁・出先事業所の全職員（※2、※3、※4）		
	テレワークを積極的に実施する。 ○週2回以上テレワークを実施 ○期間中に1週間連続でテレワークを実施 ○サテライトオフィスの活用拡大		都庁本庁の全職員（※2、※3、※5）		
計画的な業務執行による期間中の移動の回避	競技会場が集中する臨海部や競技会場周辺等への出張や現場視察等のほか、会議を控える。	2020年7月20日から8月10日まで、8月25日から9月6日まで	都庁各局の本庁・出先事業所における業務全般（※6）	各局事業所管課長・総務課長等	- 取組が必要な地域や期間等を整理、職員へ提示 - 業務関係者等へ取組の趣旨を説明、協力を依頼 - 必要に応じて貸出用ポケットWi-Fiの活用促進 - 業務関係者へ取組の趣旨を説明、可能なものは大会前後に業務を調整 - 郵送前倒し等が可能な文書等をリストアップし、関係者調整等を実施 - 視察等の依頼元へ取組の趣旨を説明、可能なものは日程を変更
	出張等の際は、朝の通勤時間帯の移動を避け、公共交通機関を利用し、出張の前後にテレワーク等を活用するなど、混雑回避に取り組む。		本庁・出先事業所における業務で調整が可能なもの（※6）		
	大会期間中は、事業者の来訪を減らすよう業務を調整し、来訪の際は朝の通勤時間帯の移動を避け、公共交通機関の利用を促す。		時期の調整が可能な文書（※6）		
	都民に送付する文書を大会前後に郵送するなど、期間中の送付を避ける。		都庁各局の業務全般		
	他自治体等からの行政視察等に関して、大会期間中を避けるよう日程変更の協力依頼を行う。				

※1 東京2020大会関連業務に従事する職員は除く

※2 東京2020大会関連業務、交替制勤務、育児・介護等で実施困難な職員等は除く

※3 窓口業務等に従事する職員については、早出・遅出勤の振り分け等により、体制を確保した上で実施

※4 都立学校の教職員も対象に含む

※5 職場での管理監督要員など、どうしても出勤が必要な場合を除く

※6 緊急の場合や危機管理上必要がある場合、業務上やむを得ない場合など、不可欠な場合は除く

取組項目	内容	いつ	どのくらい	責任者	実施に向けた推進・確認方法
都主催イベント等の実施時期の変更	大会時の実施が想定されるイベント・見学会・講習会等を大会前後に実施するよう調整する。時期の変更が困難な場合は、場所等の変更を検討し、来場者へ公共交通機関の利用を促す。	2020年7月24日から8月9日まで、8月25日から9月6日までの期間に実施しない	都庁各局で実施するイベント・見学会・講習会等全般（※6）	各局事業所管課長	- 各部署へ実施時期の調整を依頼 - 大会期間中に実施が予定されるイベント等をリストアップ - 関係者調整を実施、必要に応じて会場確保等を実施
	＜イベント例＞ 都民参加型イベント、体育大会、都立図書館主催の講演会など 【新規】 例年8月に実施している「都庁インターンシップ」の開催を見送る。	2020年8月に実施しない	250名程度（※2019年の対象人数より）	人事担当課長	2019年5月に開催見送りを公表 1dayインターンシップの開催を例年の9月に加え、2020年2月及び7月頃にも追加開催
研修等の実施時期の変更	例年7月中旬から9月上旬に実施している研修等を、大会期間中の実施を避けるよう2020年度の研修計画を策定する	2020年7月24日から8月9日まで、8月25日から9月6日までの期間に実施しない	職員研修すべて（※6） ＜参考＞ 2019年度の同時期にテレコムセンターで実施予定の研修（約2,200人）	各局人事・研修担当課長	中央研修、局研修の実施時期を調整し、2020年3月末までに各研修計画に反映
庁有車利用の抑制	本庁業務では、庁有車の利用を極力控え、利用する際も、首都高速道路や関係者輸送ルート、競技会場周辺等の移動を避ける。 出先事業所では、利用の際に、首都高速道路や関係者輸送ルート、競技会場周辺等の移動を避ける。	2020年7月20日から8月10日まで、8月25日から9月6日まで	本庁では、2019年夏と同程度の40%削減に向けて取り組む（※6）	各局総務・庶務担当課長	- 利用を控えてほしい地域や路線、期間等を整理、職員へ明示 - 庁有車利用が必要な業務等を調整

※6 緊急の場合や危機管理上必要がある場合、業務上やむを得ない場合など、不可欠な場合は除く

取組項目	内容	いつ	どのくらい	責任者	実施に向けた推進・確認方法
備品やコピー用紙、広報誌等の納品時期の変更	事務用品全般やコピー用紙を大会前後にまとめて納品し、大会期間中に納品しない。	2020年7月20日から8月10日まで、8月25日から9月6日まで	都庁各局の本庁・出先事業所含む約900箇所へ納品しない。 （※6） 【参考】 2017年度の同期間における都庁本庁舎のコピー用紙納品箱数箱（推計）：約6,700箱（※7）	各局物品契約所管課長 用品主管課長	2020年度の物品契約で、大会中の納品調整を行う旨等を仕様書に記載 - 物品の契約業者・配送事業者へ取組の趣旨を説明・協力を依頼 - 納品カレンダー等による物品担当職員への周知方法等を改善
	広報誌やチラシ・パンフレット、ポスター等の印刷物を大会前後に納品するなど、大会中に納品しないよう調整する。		都民向け広報誌や職員向け冊子など全般（※6）	各局用品請求主管課長 各局庶務担当課長	- 納品実績の確認、職員への周知・照会等により、大会期間中に必要となる事務用品の品目・数量等を把握 - 用品カレンダーを踏まえ、大会前後に納品されるよう事務用品等を請求 - 大会期間中に事務用品等が不足した場合は、部署間での貸し借りを依頼
	【新規】職員向け共済誌（7月号）を、大会前に配送する		都庁各局の本庁・出先事業所、区役所等を含む約2,400か所、全13万部	各局事業所管課長 共済発行担当課長	2020年夏に納品が予定される広報誌等をリストアップ 2020年度の契約にあたり、大会中の納品を控える旨等を仕様書に記載 - 納品時期変更に向けて関係者調整を実施
		2020年7月17日までに配送			2020年度の契約にあたり、7月号の配送日を7月17日までとすることを仕様書に明記 - 配送事業者へ取組の趣旨を説明・協力を依頼

※6 緊急の場合や危機管理上必要がある場合、業務上やむを得ない場合など、不可欠な場合は除く

※7 2017年度（H29年度）の本庁舎におけるコピー用紙使用箱数80,284箱より推計

取組項目	内容	いつ	どのくらい	責任者	実施に向けた推進・確認方法
コピー用紙・ごみの削減、水筒・弁当箱持参等の推奨	会議のペーパーレス化の推進や、両面コピーの徹底等により、コピー用紙の使用量の削減を図る。	2020年7月20日から8月10日まで、8月25日から9月6日まで	【本庁】 大会期間中に発生するごみ総量を、例年同時期と比較して約40%削減する（参考）2018年7月の都庁舎におけるごみ総量：約87t 【出先事業所】 本庁舎の取組に準じて、ごみ削減の取組を実施	各局総務・庶務担当課長	- 全庁的な目標※に沿ってペーパーレスの取組を実施 - 使用枚数が多い業務の分析 - 幹部説明の原則ペーパーレス化 - I C T環境（モバイル可能な新端末の導入、本庁舎の無線LAN配備等）を活用したペーパーレス会議・打ち合わせ等の推進 ※全庁的な目標 コピー用紙の使用量を2018年度からの3年間で2016年度対比で20%削減
	古紙（新聞・雑誌・段ボール）、シュレッダー紙を期間前後に搬出し、期間中の搬出を控える。			各局総務・庶務担当課長	- 期間中にごみを一時保管しておく場所（会議室等）を予め確保 - 合同庁舎に間借りしている事業所等では、施設管理者へ趣旨を説明し、協力を依頼
	ペットボトルごみ・プラスチックごみ等の削減に向けて、水筒・マイコップ、弁当箱の持参を呼びかける。			【本庁】 庁舎管理所管課長 【出先事業所】 各局事業所庶務担当課長	【本庁】 2020年度のごみ収集運搬契約で、大会中のごみ搬出回数を削減する旨を仕様書に記載 【出先事業所】 - 所単位等でごみ収集運搬契約をしている場合等では、ごみ搬出削減の仕様書記載を検討 【本庁・出先事業所】 - ごみ収集・運搬事業者へ取組の趣旨を説明・協力を依頼
				各局総務・庶務担当課長	全職員へ大会期間中の水筒・マイコップの持参を呼びかけ、弁当箱持参も可能な範囲で協力と呼びかけ
	粗大ごみの回収を、大会の前後に変更する。			【本庁】 庁舎管理所管課長 【出先事業所】 各局事業所庶務担当課長	【本庁】 2020年度の契約で、大会期間中を避けてごみ回収を行う旨を仕様書に記載 【出先事業所】 - 所単位で粗大ごみ回収を契約している場合等では、大会前後に回収する旨の仕様書記載を検討

取組項目	内容	いつ	どのくらい	責任者	実施に向けた推進・確認方法
都庁発注工事の調整	「東京2020大会開催時における都庁発注工事の調整に関する取組方針（2019.10版）」に沿って、各局等発注工事を調整し、路上工事によるボトルネック化の回避とともに、工事から発生する車両数を削減する。 <工事調整の方法> ・発注時期の調整 ・工事の一時休止 ・工事車両の出入り調整 ・夜間振替 ・混雑回避	①日中の路上工事を避け、車両数を削減（計35日間）：2020年7月20日から8月10日まで、8月25日から9月6日まで ②路上工事以外の施設工事等で車両数を削減（計25日間）：2020年7月20日から8月10日、8月25日から9月6日の平日	都庁各局等発注工事全般（各局事業に伴う委託工事等を含む）	オリパラ工事調整担当課長 各局工事主管課長	・2019年10月に取組方針（2019.10版）を公表、都庁発注工事の調整に関する基本的な考え方を明記 ・既発注工事では、発注者と受注者で早期に協議を開始、施工計画を変更 ・今後発注する工事では、工事調整の取組を仕様書で明示、契約後に発注者と受注者で車両削減に向けた具体の取組を検討
	海の森水上競技場に近接する建設発生土受入施設（建設発生土再利用センター、中防内側受入基地、新海面処分場）について、日中の受入を中止する。		都庁各局等発注工事全般（受入等を行っている他の発注主体の工事も同様）	建設発生土所管課長	・2019年9月に都・区市工事担当者への説明会を実施 ・大会中に代替受入する施設と調整 ・取組方針（2019.10版）に記載し公表 ・区市等へ受入調整の協力を依頼
	関係者輸送ルート、観客輸送ルート、競技会場周辺（通行規制道路、迂回道路、迂回道路内）において、都道・臨港道路等の路上工事を抑制する。		すべての路上工事（道路占用工事等）が対象	オリパラ工事調整担当課長（オリパラ・建設・港湾）	・競技会場周辺において、路上工事を控えて頂きたい路線・エリア、夜間に調整して頂きたい施工時間等を明示 ・公共・民間事業者や業界団体等へ協力を依頼 ・国道や区市道も同様の扱いとなるよう道路管理者へ依頼
	都の政策連携団体等のほか、都以外の工事発注者（公共・民間）や受注者団体等へ、工事調整の協力を依頼する。		工事関係事業者全般	オリパラ工事調整担当課長 各局工事主管課長	・工事調整の取組を説明、協力を依頼 ・都の政策連携団体等へ協力を依頼 ・工事契約カウンターや工事手続き窓口等で、事業者へ協力依頼のチラシを配布 ・「2020TDM推進プロジェクト」のホームページに、工事の実施に係るページを作成し広く周知
企業や団体等へのスムーズビズの周知	各局事業の関係企業や団体等へ、「スムーズビズ」の周知や交通混雑緩和の協力を呼びかける。	大会時まで随時	各局等の関係事業者全般、33政策連携団体等	各局事業所管課長	・チラシ等の配布や、関連企業等へメール等で周知 ・都の政策連携団体等へ協力を依頼
都施設等での来庁者へのスムーズビズの周知	都民が訪れる都施設や都庁各局の受付窓口等で、大会時の交通混雑緩和に向けて「スムーズビズ」の取組を周知する。 <都施設の例> 都営地下鉄駅構内、都バス車内、都税事務所、都内市場、都立公園・海上公園、都立図書館、都議会PRコーナー、都立スポーツ施設など	大会時まで随時	都民が訪れる都施設や受付窓口など全般	各局総務・庶務担当課長	・来庁者窓口等でのチラシ配布やポスター掲示、HP等を活用して周知

参考3 アクションプラン作成関連ホームページ

2020TDM 推進プロジェクトホームページ

<https://2020tdm.tokyo>

大会輸送影響度マップ

<https://2020tdm.tokyo/map/>

会場周辺交通対策

<https://2020tdm.tokyo/traffic/index.html>

関係者輸送ルート・観客輸送ルート

<https://2020tdm.tokyo/route/index.html>



2020TDM推進プロジェクト

2020TDM 推進プロジェクトは、時差ビズやテレワークと合わせて働き方改革を目指すスムーズビズの実現の一つです。企業活動と東京 2020 大会の円滑な大会運営/輸送の実現との両立を図るため、企業や市民の皆様の少しずつのご協力をいただきながら、進めていく取組です。

2020TDM 推進プロジェクト HP では、大会輸送影響度マップや企業の実施事例など、大会時の 2020 アクションプラン作成に必要な情報を提供しています。

ご登録いただきますと、メールマガジンでの最新情報のご提供や、アクションプラン作成のための個別コンサルティングを無料で受けていただくことができます。

(登録は無料です。また、登録により、義務が発生することはありません。)

..... ホームページ

<https://2020tdm.tokyo>



ご登録は HP より
お願いします！

2020TDM 推進プロジェクト運営事務局

お問合せ

<https://2020tdm.tokyo/inquiry/index.php>